

鴨沂高校同窓会報 第11号

発行：京都府立鴨沂高等学校同窓会 〒602-0856 京都市上京区荒神口通り寺町東入ル荒神町 105 鴨沂会館内
TEL(留守電)& FAX 075-212-4445 ohkidoso@yahoo.co.jp http://www.geocities.jp/ohkidoso/



鴨沂高等学校同窓会の皆様へ

京都府立鴨沂高等学校同窓会 会長 佐々木佳継

鴨沂高等学校同窓会の皆様におかれましては益々ご隆盛のことと存じます。さて、2014(平成26)年11月9日の総会から早や3年、来る11月18日(土)に次の総会を開催いたします。多数ご出席くださいますようお願い申し上げます。現在、母校は校舎改築工事中です。当初、工事完了は2016(平成28)年12月の予定でしたが、思わぬ土壌改良工事で工期が遅れ、2018(平成30)年8月完成を目指しています。同窓会では、前回総会を期に「新校舎落成記念事業」に取り組み、現時点(6月末)で、募金は1,420名14,131,139円、協賛広告34件1,020,000円のご協力をいただいております。皆様のご厚志に心より感謝申し上げます。さらに「新校舎落成記念事業実行委員会」が立ち上がり、新校舎落成を祝し母校の発展のために引き続き新校舎落成記念事業に取り組んでおりますので、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。創立以来の鴨沂高校の教育目標は、『世界平和を希求し、すべての人々が幸福になりうる社会を目指し事実に基づいて真理を追究し、それに従って実践しようとする人間をつ

くる』です。

私は、同窓会でもこの目標を大切にしたいと考え、会長就任時後輩のために2つの目標を持ちました。第一は、後輩達が良い教育環境で学び、成長するための後押しをすること。第二は、後輩達が平和で豊かで安全に暮らせる社会を目指すことです。同窓会では、後輩達に奨学金を給付しております。国の日本学生支援機構における奨学金は、給付は一部、ほとんどが貸与で教育ローン化しており、高校・大学を卒業する時点で相当な借金を背負う現実があります。同窓会の奨学金は1人年間72,000円の6人枠とささやかですが、返済は求めていません。受給生徒からの感謝の手紙をホームページに掲載しておりますのでご覧いただければ幸いです。財政基盤を整え、この奨学金制度をより充実させていければと考えています。幸い、学校の配慮のもと、3年前からは入学時に全員が同窓会への入会金を納めていただいております。最後になりましたが、鴨沂高校同窓会を皆様が力強く支えていただきますことを心よりお願いし、ご挨拶とさせていただきます。(2017年5月記)

2017(平成29)年度

京都府立鴨沂高等学校同窓会 第8回総会開催

日時：2017(平成29)年11月18日(土) 15時30分～ 受付
会場：ウェスティン都ホテル京都 鳳凰の間 (東館4F)
京都市東山区三条けあげ (TEL 075-771-7111)

●くわしくは本誌最終ページをお読みください●



新校舎完成に向けて、伝統復活を目指す鴨沂の学校改革

京都府立鴨沂高等学校 校長 藤井 直

鴨沂高校のいま …学校改革の進展

- ① 問題行動や中途退学、原級留置、いじめのない、安心・安全に生徒が暮らせる学習環境
- ② 就職内定率100%、国公立大学に現役生10名が合格するなど、進路実績が向上
- ③ 全国トップレベルの女子水球、全国大会出場の自転車競技、シンクロナイズドスイミング、放送をはじめ、加入率90%以上の活発な部活動
- ④ 京都文化コースの設置など、京都文化の学びを通して、世界に発信できる人材の育成
- ⑤ フランス国ジュールゲード国際高校と姉妹校提携
- ⑥ コース別クラス・7時間目授業・土曜授業など、「入ってから伸ばす面倒見の良い学校」

第16代校長 拝師暢彦先生が『京都府立第一高女と鴨沂高校』を上梓されました。



この度、本校第16代校長 拝師暢彦先生が、府一の時代の河原一郎校長「特別引継事項」の内容や、校名や「スクールソング」、美術品等にまつわるエピソードなどを集めた『京都府立第一高女と鴨沂高校』を自費出版されました。今春卒業した第69期生全員に、無償で御寄贈いただきました。

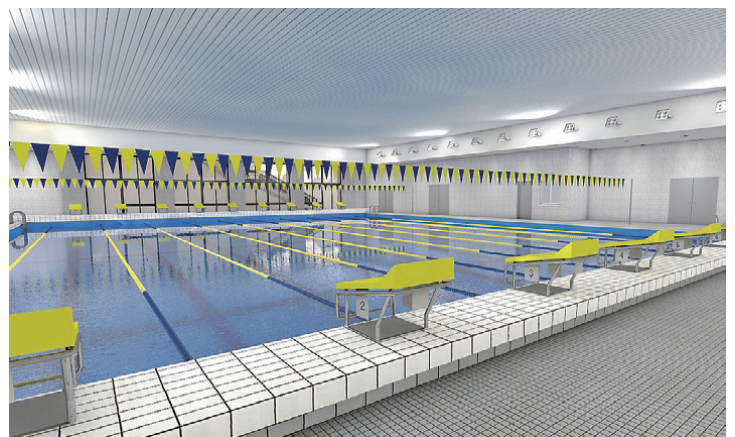
「スクールソング」を「校歌」に改めました。

本校は、新制高校発足時に校歌を公募した際、2期生の糸川光樹氏（明治学院大学名誉教授）の詞が選ばれましたが、「校歌と呼ぶにはいまひとつ。後日、さらに良い歌ができるのを待とう」と、仮の校歌「スクールソング」と名付けられた経過が、拝師先生の御著書で明らかになりました。しかし、今日まで校歌と呼べる新しい歌は誕生せず、約70年経過した今日まで定着していることから、同窓会や在校生、PTA、教職員の了承を得て、この度「校歌」と称することとしました。

校舎改築等工事の進捗状況について

府立鴨沂高等学校校舎改築等工事については、砒素による土壌汚染が判明したことから、土壌汚染対策工事を行うため、工期の延長を余儀なくされ、完成時期は、平成30年夏頃になる見通しです。新校舎は、伝統ある景観の継承と最新の教育機能の融合を図るデザインで、主な特徴は次のとおりです。

- ① 本館棟は既存の外観や装飾品をそのまま修復・保存し、建設当初の意匠を継承
- ② 旧図書館棟及び新築校舎の外観については、学校全体で統一感のある色調とし、寺町通側の景観に配慮
- ③ 内装についても、木質化や特徴的な意匠を復元・継承することで建設当初の雰囲気を残しつつ、下がり天井を設け効率よく配線することで配管が露出しないよう計画
 - ・図書室を中心とした情報メディアセンターを配置し、学習支援機能を充実
 - ・少人数教室や多目的教室を配置し、多様な学習形態を可能とするレイアウト
 - ・水泳競技（水球・シンクロ等）の拠点校として、可動床式温水プールを整備



- ・九条家ゆかりの正門、和室や木の階段の復元
- ・スロープ・エレベーター等によるバリアフリー化、自然の風や光を取り入れた教室棟



鴨沂高等学校の近況について

京都府立鴨沂高等学校 副校長 齋藤 清嗣

平素は、本校の教育推進に御支援をいただき誠にありがとうございます。平成28年度から副校長を拝命いたしました、齋藤清嗣と申します。鴨沂高校の教育活動充実のため、微力ではありますが努力いたします。何卒よろしく願いいたします。

さて、平成28年度は、学校にとって大きな節目の年となりました。平成26年度から始まった、新しい公立高校入試制度による入学生が3学年揃い、初めての卒業生を出す年度となりました。“発展文理コース”、“標準文コース”、“京都文化コース”の3つのコースがそれぞれの目標を持って3年間学習に、特別活動に取り組み、立派に巣立って行きました。また、単独選抜制度の導入により、在校生全員が鴨沂志望となったことで、学校の雰囲気も大きく変わりました。今まで以上に、学校生活に真正面から向き合う生徒が増え、その成果が少しずつ進路結果や部活動の成果にあらわれはじめています。

目に見える部分では、平成25年度入学生から導入さ

れた制服もすっかり定着し、地域から鴨沂の制服として親しまれるようになってきました。鞍馬口の仮校舎での学校生活も4年が過ぎ、荒神口の校舎での学習経験の無い生徒ばかりになってしまいましたが、平成30年度の新校舎完成を皆心待ちにしています。

平成28年度中の鴨沂をとりまくワールドワイドな話題としては、平成28年11月7日付で、フランス国オクシタニ州立ジュールゲード国際高校と姉妹校提携を結んだことが挙げられます。それに先だち、同年2月にはジュールゲード国際高校の生徒が鴨沂高校を訪問し、2泊3日のホームステイを受け入れました。今後は鴨沂高校の生徒がフランスを訪問することも含め、相互の交流を定期的に行う予定です。

諸先輩方におかれましては、今後とも鴨沂高校の生徒たちを温かく見守っていただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、同窓会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝を心よりお祈りいたします。

会費納入のお願い

2000(平成12)年より同窓会財政の健全化を目的として会則に基づき、みなさまへ会費納入のご協力をお願いしてまいりましたところ、お蔭様で母校への思いが少しずつ届けられるようになり、会費が納められるようになりました。ですがその数は全体から致しますと、まだまだ少ない状況です。今後の同窓会のより一層の発展と確かな財政基盤を確立し継続していくために皆様のご協力をぜひお願いします。**年会費は2,000円(会則第12条)**ですが、総会開催及び会報発行が次回は2年後ですので、できれば**2年分4,000円**を納入いただけますと大変有難いです。なお、ご送金はこの会報10号と同封のゆうちょ銀行送金用紙「払込取扱票」をご利用いただきますと幸いです。よろしく願い申し上げます。(同窓会事務局)

鴨沂高等学校「京都文化に関わる教育活動」について

京都府立鴨沂高等学校 京都文化科主任 西村 大輔

平素は、本校の教育活動に御理解と御支援をいただき誠にありがとうございます。
鴨沂高校京都文化科主任を務めます西村大輔です。本校では、平成26年度より、新しいカリキュラムに沿った特色ある授業として、「鴨沂の京まなび」と称する京都文化に関わる教育活動に取り組んでいます。



「鴨沂の京まなび」は、貴重な文化財に恵まれた立地環境や、同窓会の皆様をはじめとする創立145年を超える伝統に支えられた人的ネットワーク等、鴨沂高校が持つ様々な力を活かして展開する「京都文化に関わる教育活動を通じた人間育成」であり、外部講師や大学、博物館等と連携して進める体験的で探究的な教育プログラムです。

中でも、全生徒が「土曜授業」で取り組む「総合的な学習の時間（京都文化入門・演習・研究）」や、京都文化コース（第2・3学年）に設定されている教科「京都文化科」の科目「日本の風土と文化」、「京都の産業文化」、「京都文化の発信」は、京都文化に関わる探究的かつ実践的な鴨沂高校独自の授業です。

以下にこれら各授業の内容について、平成28年度の実践をもとに報告します。

「京都文化入門・演習・研究」は、年間12回実施する土曜授業の中で全校生徒を対象に実施します。

「京都文化入門（1年）」では、伝統や文化に関わる講義やフィールドワーク、実習、見学等、多様な体験型学習プログラムを通して、京都の文化について理解を深めるとともに、京都の文化に親しみ、京都の文化を尊重する態度や資質を養っています。

【京都文化入門（1年）プログラム例】



京都府教育委員 冷泉貴美子氏
講演「京都文化について」



「葵プロジェクト」
～葵祭、二葉葵を育てる～



「京の伝統織物～祇園祭懸装品」
～川島織物セルコン・先輩に学ぶ～



「古典芸能、地域の専門家」
観世流シテ方楽師 河村晴久氏



「京の食文化、京漬物」
打田漬物 打田学市氏



「京の食文化、京菓子体験」
「笹屋吉清」保木 進氏



「茶道体験～京のおもてなし～」
茶道裏千家 本間宗壽氏



「華道体験～花を生ける～」
池坊華道会 城野眞理子氏



「京の装い 着付け体験」
服部和子きもの学院



「金剛能楽堂、狂言鑑賞会」
同窓生狂言師 木村 要氏

「京都文化演習（2年）」では、京都文化入門や各教科等で習得した知識・技能を活用して、「関東・東京研修旅行での文化・キャリア研修プログラム」に取り組み、京都文化を関東の文化との比較の中で相対的に捉えることで理解を深めたり、テーマに沿って課題解決する能力を身に付けたりします。

【京都文化演習（2年）プログラム例】



研修旅行事前学習
グループ発表



関東・東京研修旅行
「江戸東京博物館」



歌舞伎鑑賞教室
「国立劇場」



「同窓生による講演、交流会」鴨沂高校同窓会関東支部
加藤啓氏(19期卒)、吉川能信氏(19期卒)、荒森幾雄氏(19期卒)、
服部順昭氏(19期卒)、林三津子氏(23期卒)



「文化・キャリア研修 フィールドワーク例」



「国会議事堂」



「東京タワー」・「増上寺」



「江戸城跡」



「東京証券取引所」



「東京大学」

まとめポスター例



「文化・キャリア研修 事後まとめ・発表」



「全生徒ポスター発表」

土曜授業（第2学年後半・第3学年）では、「進路別演習プログラム」や「キャリア教育プログラム」に取り組むことで、生徒一人ひとりの「進路実現」や「キャリア向上」を図り、確かな「進路実現・自己実現」に繋がっています。

京都文化コースに設定されている科目「日本の風土と文化（第2学年）」では、京都の歴史・文化について史・資料に基づいて学ぶとともに、フィールドワーク等現地での実体験を通して理解を深める授業を展開しています。

【日本の風土と文化 フィールドワーク例】



「西寺跡・羅城門跡・東寺」



「相国寺境内・花御所跡・阿彌陀寺」



「東山大仏・耳塚・御土居堀」



「岡崎・琵琶湖疏水・二条川東」



「空襲・建物疎開跡」

「京都の産業文化」では、第2学年で学んだ京都の歴史・文化についての理解の上に、京都の「衣・食・住・産業」に関わる、京都の伝統的な生活文化や伝統産業、あるいは近代産業等京都の産業・文化について、講義やフィールドワーク、施設見学等の授業を展開しています。

【京都の産業文化 実習・フィールドワーク例】



「合成繊維(ナイロン)を作る」
～京都文化を科学する～



「風呂敷ギャラリー見学」
～風呂敷から学ぶ京の装い～



「川島織物セルコン見学」
～文化を支える伝統技術～



「京料理老舗の技から学ぶ」
～嵐山熊彦 栗栖 基氏～



「島津創業記念館見学」
～京都の近・現代産業～

「京都文化の発信」前半では、京都府京都文化博物館と連携した授業に取り組みました。「世界考古学会議(WAC-8)」に関連して開催された『京都府内の学校所蔵考古・歴史資料展』において、生徒たち自身が展示・資料作成・展示案内等を行いました。京都文化博物館学芸員の指導を受けて、鴨沂高校が所蔵する価値ある考古歴史資料について広く社会に向けて発信しました。

【京都文化の発信 『京都府内の学校所蔵考古・歴史資料展』 授業例】



京都文化博物館での実習
「歴史資料調書実習」



「京都文化博物館でのプレ解説」



「学芸員による展示案内講習」



「会場での当日展示案内」



「チラシ作成協力」

原画・墨書・キャッチコピーをコース生徒が制作

「京都文化の発信」後半では、平成28年度に本校と姉妹校提携を締結したフランス、オクシタニ州、モンペリエ市にある「ジュールゲード国際高校」との電子メールを通して、コミュニケーション能力や国際感覚を磨くとともに両校の絆を深めました。また、交流に向けては、同志社大学フランス人留学生との実践的な交流活動にも取り組みました。

【京都文化の発信 『ジュールゲード国際高校との交流』 授業例】



ジュールゲード国際高校教員
「寺田真紀氏講義・対談」



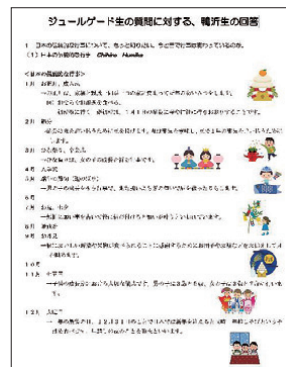
同志社大学フランス人留学生
「フランス文化発表」



同志社大学フランス人留学生
「文化交流ワークショップ」



「日本・京都文化発信メール作成」



「日本・京都文化発信メール例」

以上、「鴨沂の京まなび」についてその一部を紹介しましたが、現在の鴨沂高校の生徒たちは、先輩の皆様が築かれた輝かしい伝統と鴨沂の精神を確かに継承しながら、さらなる飛躍へと向かっています。

同窓生の皆様におかれましては、今後とも鴨沂高校の教育活動に対しまして、温かく見守っていただきますとともに、御支援くださいますようお願い申し上げます。

公益社団法人京都鴨沂会について

公益社団法人京都鴨沂会 代表理事 安藤 文雄

公益法人・京都鴨沂会は平成25年4月に当時の八木理事などのご努力により京都府から承認を得て「公益法人」として発足しました。だから僅々4年余りの歴史しかありませんが、その組織としての実態は1世紀以上の昔に遡ります。

すなわち近代国家として動き出した明治の日本において女子にも高等教育が必要であるとの趣旨から明治5（1872）年に新英学校及び女紅場として開校した女学校の先見の明ある卒業生たちが明治42（1909）年に法人格のある「社団法人・京都鴨沂会」を設立したのがその嚆矢です。爾来、100年を超える長年月に渡り主として元府一の諸姉のお力により、幾多の戦争と特に第2次世界大戦の敗戦後の苦境をのりこえ今日に至りました。この間、伝統文化、技能の習得のための講習会をはじめ、結婚相談所、保育園、幼稚園などの事

業を通じて社会に貢献してきました。

ところで「公益社団法人」となった今、この組織は単に府一、鴨沂高校の卒業生などの関係者に限らず、広く門戸を一般に開放して会の趣旨に賛同する方々はどなたでも、入会金と年会費を払っていただければ会員の資格を得ることができるようになりました。その事業もまた懐旧の想いに繋がれた同窓会だけではなく、広く世のため人のために尽くす公益事業となっております。

具体的には高等学校教育を振興するための奨学金、研究支援と助成、これは能力と意思がありながら経済的理由のために勉学を断念する生徒数が10数%という最近の報道からしても必要性の高い活動でしょう。次に高齢者福祉と国際相互理解に役立つ芸術、伝統文化の講習会とボランティア活動への支援があります。少

子高齢化が急速にすすむ現在、そして日本がより国際的にオープンな社会になるためには必須とされるでしょう。

さらに生涯教育を支援する公開講演会にくわえ、文化芸術及び生涯学習のための情報提供があります。このため1世紀を超えて連綿とつづく「鴨沂会誌」を発行しており2017年度にはその154号を発行することになっています。このような出版物もこれだけ永年にわたり継続すると文化的な資料としての価値をもつようになるため、その編集資料とともに保存管理を厳重に行っており、必要に応じて貸し出しをしています。この資料は会館のみならず、府立総合資料館、京都女子総合センターなどにも保管されています。またこの「会誌」とともに法人の活動と会員の近況を掲載した「鴨沂会報」を配布しておりこれは同窓会的な活動への援けとなっているでしょう。

このような活動を行うためには、それを支える収入が必要で、これは鴨沂会館のホール、会議室などの賃

貸料と、会員からの会費及び善意の方々からの寄付金によりまかなっているのが現況です。より活発な活動のためにはより多くの収入が要ります。それには会館の利用稼働率、現在は10数%、を引き上げること、会員数をもっと増やして会費収入を上げること、このような自助努力があて初めて寄付をお願いできると思います。

現在、会員数は1,100余名、その7割以上が元府一の諸姉方ですから、鴨沂高校の卒業生にも、親睦団体の同窓会にくわえて社会的な意義ある公益社団法人へもご参加いただき、より活発な活動へのイニシアティブをとって欲しいと願い、同時に鴨沂関係者以外の皆さんにも輪を拡げるよう努力を尽くしたいと考えます。幸い、公益法人としての活動が徐々に世間に知られるようになり、奨学金への応募、講習会への参加などが増えつつあるのは本当に頼もしく、このエネルギーを衰えさせることなく発展して行きたいものです。

皆様へご報告

京都府立鴨沂高等学校同窓会関東支部 支部長 加藤 啓

同窓会関東支部長の加藤啓（19期）です。関東支部での活動報告をさせていただきます。

近年（2015年から）高校研修旅行〈2年生時〉では関東を訪問先に選んでおり、その途上で我々同窓会関東支部との交流会を持っています。いずれの回でも講演を引き受けてくれた同窓生の皆様は自らの社会経験を踏まえて生徒たちを激励し、また今後の人生の指針になるような感動的なお話をいただきました。講演者を紹介します。（肩書・講演当時）

- 第1回 2015年6月 場所 ルートイン五反田
3期 西村暢夫氏 リストランテ・文流を創業、日本におけるイタリア文化・言語・料理の紹介普及に貢献されました。
19期 辻教雄氏 日本経済新聞記者を経てテレビ北海道常務取締役編成部長
19期 池宮城直子氏
ファイナンシャルプランナー

この回、生徒たちは食事後2時間、先輩たちのお話を真剣に傾聴してくれました。

- 第2回 2016年6月 場所 ルートイン有明
19期 荒森幾雄氏 (株)明治 常務取締役

製造分野の最高責任役員

- 19期 服部順昭氏 東京農工大学名誉教授
日本における木質学の権威

- 23期 林三津子氏 (株)創 副社長

ANA 勤務を経て起業・国際的に活躍

この回は食事後1時間の制限された時間ながら質疑応答の機会を持つことができました。

さて今年、第3回は2017年6月13日浅草ビューホテルにおいて19期白石哲也氏（作曲家・ピアニスト・ダークダックスの音楽監督などを長く勤めていた）のピアノ演奏約10曲を含む課外授業が行われました。（高校ホームページでも紹介）生徒たちは時にはピアノの演奏に合わせて手拍子。まさに講演のテーマ「音楽の力」を体感してくれたと思います。最後に全員で生徒（小杉華那）さんの伴奏で校歌を合唱し楽しく有意義な時間を終えました。さて来年も研修旅行は関東に来ることが決定されているとのこと。また3年毎に開催されている関東支部総会（第10回）も同時期に予定されています。私ども事務局もその準備を始めなければなりません。今後とも同窓生の皆様のより一層のご協力をお願いいたします。

学 年 報 告

1951 (昭和26) 年 3 月卒：3 期生

天野 城二

「三鴨会 便り」

三鴨会 (さんかもかい) とは鴨沂高校 3 期の有志が集まって諸々の行事を行っている会の事です。三鴨旅行会、三鴨ゴルフ会、三鴨呑み会 (三呑み会) 等がありました。三鴨旅行会は昭和56年 6 月金沢へゴルフと観光に行ったのが始まりで、55名が参加、その後毎年観光旅行を行ってきました。平成 4 年には還暦祝いにハワイへ約30名が参加しました。平成16年72歳をきっかけにスイスに行き旅行は卒業しました。平成15年 1 月奈良の大仏殿東大寺の第216世管長、新藤晋海大和尚の奥様の新藤美也子 (旧姓浅羽12組) さんが、東大寺の塔頭観音院で新年会を催した時、それを聞きつけた人が参加を希望したが仕出し料理の数の関係で参加できなくて残念がっているとの話を聞き、予約しなくても参加できる会を作ろうとの話が持ち上がり平成15年 3 月から現在の三鴨会がスタートしました。3 期ですから毎月 3 日に京都駅前東側のセラマビル地下のスーパードライ・ルネッサンスで、午前11時30分から午後 2 時迄のランチタイムに集まって駄弁っています。会計は各自払いで 1 人 1 人伝票を切ってくれます。1,000円から2,000円くらいで毎月20人位参加しています。先に述べた通り予約等しなくてもよいので、気が向けば顔を出してみして下さい。楽しいですよ。

1956 (昭和31) 年 3 月卒：8 期生

黒川 令三

私達 8 期卒は2014年を最後に一同が会える事が無くなりましたが各組で年 1 回位のペースで集まっているようです。今回北海道在住の友の一文を紹介します。

今浦島！ 62年の時を経て

8 期 9 組 三松 (旧姓 飯田) 三朗

私は今、昭和新山麓の世界一小規模な火山系の博物館を守っている。6 月上旬鴨沂高同窓生が北海道旅行の途中「三ちゃん」と訪ねて来た。いともにこやかに「13組の黒川 (旧姓 小林) 令三や」と名乗られてキョトン状態である。来訪の機会にと古い友人の写真を持参いただいたが、旧友の記憶に繋がるのは童顔の残る顔で、80歳の近況写真に全く結びつかない。高校卒業を待たず津軽海峡を渡って以来今日まで、ひよんなことで火山誕生の記録を残し、その火山の保護に努めた郵便局長との出会いがあって、以来獣医と縁のない「火山」三昧の日々を過ごして来た。京都時代のニュースは少数の友人との、七夕のような年に一度の年賀状だ

けである。しかも、年賀状が訃報にかわる。両親の存命中は介護目的で帰京したが、今はその機会もなく鴨沂時代は浦島太郎状態である。お互い自愛し、次世代に迷惑をかけぬ終活につとめたいものだ。

1958 (昭和33) 年 3 月卒：10 期生
第10期幹事代表 (3 年 5 組) 福本 和正
「第13回同期会の報告」

2016年 6 月 8 日 JR 京都駅直上の「ホテルグランビア 京都」5 階で開催され、133人が出席しました。それまでの出席数に比べると、出席者は減少しているものの、出席者の感想では一応、盛大であったということです。たまたま第13期卒業生の同期会も (10期生より後に申込)、ほぼ同時に同じホテルの 3 階であり、当日午後、このホテルは、3 階と 5 階で鴨沂高校卒業生約280人分の料理で、サービス不足があったかも知れません。

第10期卒業生の年齢も76~77歳になり、12組までの卒業時の生徒数616人に対して、第10回の同窓会時に整備された住所録に今回までのデータを補足して、宛先不明者59人、物故者95人が2016年 5 月現在のデータで、その和は154人となります。今回の出席率は、宛先の判明している生存卒業生462人に対して28.8%です。欠席者の中には、同窓会への無関心派が100人程いるようにも推測されました。

4 年前の京都府教育委員会の発表では、昨年 (2016 年) の 8 月末には、新校舎も完成し、在生も帰って来れるという説明でしたが、寺院跡や砒素の出現により、1 年半ほど先に延びたのは、残念でした。

2 年先には78~79歳になり、別記のようなことを考えると、次回はなるべく全卒業生の参加できる記念文集のようなものをまとめるのが良いのではないかと提案します。

記

- [1] 3 年に一度の同窓会総会に 2 ~ 3 時間出席しても、参加者全員とはじっくり話せない。
- [2] 3 年という間隔では、次の回まで存命が怪しい人が増えています。このまま、永久に意思不通になってしまう同期生が出るのは、何としても残念に思う次第です。



1959 (昭和34) 年 3 月卒 : 11 期生

谷口 全平

昨年10月26日、河原町三条上るの「京都ロイヤルホテル & スパ」において、2年に一度の私たちの同期会「鴨沂33会」を行いました。当日、遠くはシカゴから、あるいは仙台や熊本からと、107人が集いました。恩師の浜田香代子先生はご高齢で、おみ足のご不自由な中、高知からご出席、会に大きな花を添えていただきました。今回の目玉イベントは卒業アルバムをもとに作ったDVDを大きなスクリーンに映して皆で見る。クラス別集合写真はもちろん、九州に行った修学旅行、心躍らせたフォークダンス、先生方を我々生徒がつくった山車に乗せて担いだ「仰げば尊し」。九州へ行く船の中で、友達が「長崎の鐘」を歌ったこと、Y先生が山車の上で、「おーい、〇〇君、揺するな～！揺するな～！」と必死になって叫んでおられた真剣な顔などが思い出され、思わず笑いとお声かき、「みな若かったな！」と、心はすぐに58年前に戻りました。

身体の物理的な老化は自然の理で仕方がないことですが、心の若さは蘇らせることができるものようです。

次回、第15回33会は、来年、2018年10月16日(火)12時から、同ホテルで行います。春の気呼び戻すためにもぜひご参加下さい。

1960 (昭和35) 年 3 月卒 : 12 期生

木村 早苗

私には「幸せ」と感じる事がいくつかある。

その一つが、鴨沂高校を母校に持てた誇りである。

さらに、2年毎の学年同窓会をはじめ、地域同窓会・鴨友会（発足時は運動部だったが、今は同窓生なら…）等で、みんなに会える「幸せ」である。それぞれに惜しみなく世話をしてくれる幹事がおられる訳だが、感謝・感謝である。

去る5月24日も山城会（発足時は京阪沿線・今はどなたでも…）に参加し、いっぱいしゃべり・いっぱい食べて旧交を温めてきた。皆さん、ありがとうございます。

今後の予定

第16回鴨友会

- * 日時 2017 (H29) 年10月26日(木) 12:00～
- 第一部 講演 (鴨沂高校元校長 拝師暢彦先生)
- 第二部 懇親会

- * 会場 京都ガーデンパレス
- * 会費 8,000円

第13回学年同窓会

- * 日時 2018 (H30) 年6月1日(金) 12:00～
- * 会場 ホテルグランビア京都 古今の間
- * 会費 10,000円

同窓会に参加するには、一に体力、二に体力、三・四も体力、五に気力…。

私も、永年幹事としてお世話できる「幸せ」をかみしめながら(?), これからも、首をつっこんでいくように、健康には留意して過ごしたいものである。



1962 (昭和37) 年 3 月卒 : 14 期生

福田 喜穂

昭和34年4月、私たち第14期生（606名）の入学式は、安保闘争で講堂封鎖のため、各教室でささやかに挙行、安保反対行動が全国に吹き荒れる中で高校生活は始まった。やがて校内も落ち着きを取り戻し、脈々と続く鴨沂の自由な校風の中で高校生活を謳歌した。特筆すべきは、日本初の女学校「新英学校女紅場」として設立され、山本八重（後の新島襄の妻）が当初から指導者として在任していたこと、かつては京都大学の進学者数が日本一で、多くの知識人、芸術家、芸能人など多くの著名人を輩出し、水球は強豪校、体育祭の「仰げば尊し」など、多くの伝統や特色を持つ由緒ある学校に学べたことを私たちは誇りに思う。平成24年9月に卒業50年と古希の節目に第9回同期会を「ホテルグランヴィア」にて開催、144名が集い旧交を温めた。3年後の平成27年9月には、第10回同期会が開催され107名が懐かしんだ。残念なことに同期生の数十名が他界されたが、3年毎に開催される恒例の同期会が、互いの無事と健康を確かめる機会となり、楽しみなイベントだ。現在、学舎は全面建て替え、改築工事中で、建物は生まれ変わるが、素晴らしい歴史と校風は末永く受け継がれるよう願ってやまない。

(2017年5月記す)

1963 (昭和38) 年 3 月卒 : 15 期生

河合 孝俊

今回から2年毎の開催になりました第10回同窓会は平成28年6月11日「からすま京都ホテル・瑞雲の間」で開催いたしました。参加者は山下俊正先生と同級生98名の合計99名でした。残念ながら前回より参加者数は減少でした。しかし、会の雰囲気は和気藹々。昔ばなしに花が咲き、高校時代のクラブのこと、文化祭や

体育祭の仮装行列等々…また、お互いの近況報告それぞれが大いに語り旧交をあたたため楽しんでおりました。また、アトラクションは同級生四柳英明氏の弟の四柳文和氏のピアノ演奏、クラシック歌手の山本剛史氏のカンツオーネ・日本歌曲などを楽しみました。これは大変な好評で喜んでおります。スクールソングは四柳氏の伴奏、山本氏のリードで大合唱、皆んなは青春の頃に返っていたようでした。来賓として総会の前にご挨拶された本部同窓会長の佐々木佳継氏が鴨沂高校の改築工事の現況と建築費助成への寄付金希望の話がされました。15期生としましてはこのご要望に答えて、年次総会の場で10万円を寄付する決定をいたしました。広告のデザインは同級生の美術部出身、精華大学の学長もされた坪内成晃氏です。次回同窓会案内も掲載しておりますが、真中の校章とOHKIのデザインにご注目下さい。

今後は同級生のご意見をさらに聞きよく検討してさらに充実した同窓会になるよう努力してまいります。

新校舎となりますれば、気分一新かっての「東の日比谷、西の鴨沂（かもきん）」の名声を取り戻せる後輩が育ちますよう祈っております。

1964（昭和39）年3月卒：16期生 長谷川尚男

「卒業から半世紀が過ぎました！」

第16期生は昭和36（1961）年～昭和39（1964）年の3年間を学び舎で過ごし、13クラス590名で卒業しました。学年同窓会の通称は3年生だった年度から「鴨沂高校三八会」としてあります。卒業年の1964年10月には東海道新幹線の開通や東京オリンピックが開催され、私たちが過ごした3年間も日本の高度成長期の真ただ中でした。あれから半世紀が過ぎましたが、その間、同窓会も頻繁に開催され、平成26年4月には134名の参加者で「卒業50周年記念同窓会」、平成28年10月には65名の参加者で「卒業52周年記念古稀同窓会」を、共に京都ガーデンパレスで開催しました。会場では学生時代の懐かしき思い出とともに、介護や老後、孫のお世話に健康の話題など、時間を忘れて話が弾みました。関東方面に居住の方には「鴨沂高校東京三八会」



鴨沂高校三八会卒業五十周年記念同窓会

平成26年4月12日 於 京都ガーデンパレス

も開催されており、京都での開催と重複しないように連携をとっております。幹事は都度人選して交代しますが、今後も2年に一度は開催しようと新たな幹事で現在検討中です。次回も元気に肩を組みあって「校歌」や「高校三年生」を熱唱しましょう。同窓会の開催記録や開催予告はホームページやfacebook（鴨沂高校三八会で検索）で見られます。同窓会にご無沙汰の同期の皆様もぜひ次回にはご参加いただき楽しいひと時を過ごしましょう！

鴨沂高校三八会ホームページ：

<https://ohki38kai.jimdo.com/>

（50周年記念・52周年記念同窓会 幹事）

1965（昭和40）年3月卒：17期生 山岡 亮平

「ドイツより母校愛を込めて」

8年前に還暦祝いに絡めて、全クラス合同の集りを開いてから歳月が過ぎ去り、皆様無事めでたく70歳と言う古来稀なる年齢“古希”を迎えることになりました。

そこでここに還暦を過ぎ、古希を無事に越える事ができた同窓生が、再度一堂に会しての“17期卒業生の古希を祝う会”を15名の世話人のもとに以下の通り開催いたしましたので報告させていただきます。

同期卒業生626名、案内状発送数505通：返信数296通、出席回答123通、欠席回答183通、物故者数73名、未回答数155名

日 時：平成28年10月30日（日） 12時30分

場 所：東華菜館

二次会：15時～17時

場 所：京都ロイヤルホテル&スパ
ラウンジ ヘブン 64名

今回は特別企画として1人1人の顔が分かる集合写真を残そうと、会の開始前に3組に分けて撮影を行ない、終了時に全員に3枚セットとして渡す事が出来て好評でした。また関東組の1人で世話人でもある生島融君の担当した“半世紀ぶりのホームルーム”も印象



鴨沂高校 第17期 古希祝い同窓会 平成28年10月30日

深いものでした。参加者の3割以上は関西以外からの方々で、特筆すべきはドイツのデュッセルドルフから、大阪の国立国際美術館購入作品作家として有名な国際彫刻家の竹岡雄二君がこの同窓会のために帰国し二次会の最後まで残ってくれ、母校に作品の寄贈を申し出てくれたことです。彼の申し出は直ちに同窓会本部と高校当局に伝え、喜んで受け入れさせていただくとの回答を得ています。作品は新校舎落成後の図書室に合わせて作られ寄贈される予定です。

また会計報告も兼ねて、世話人一同の総意のもとに、名前入りで本会誌の協賛広告で在校生にエールを送らせていただきました。鴨沂のマーク入りのユリカモメのデザインと送る言葉は世話人の1人、大前満之氏の力作です。

1966（昭和41）年3月卒：18期生

太田 雅彦

私たち18期生の学年同窓会は、卒業後25年を期してスタートし、5年ごとを5回つづけ、その後は3年後の2014年に開催致しました。次の7回目も3年後となる今年、古希として10月1日に予定しているとのことです。

直前の第6回同窓会は2014（平成26）年9月21日に「からすま京都ホテル」に於いて行われ、地元京都はもとより全国各地から、数人は外国から、139名もの多数の同期生が集まりました。開会宣言から乾杯までの式辞までは静粛なれど、乾杯発声と同時に全ての宴会円卓から、一斉におしゃべりの渦が巻き起り、そしてテーブルを渡り歩く同期生も増えて行き、大変な盛会となりました。



6年ほど前に、会報「鴨沂18」の発刊企画がたちあがり、私も編集委員の1人として参加して来ましたが、創刊準備号の編集・発行を実現しました。次の創刊号からは有料の会員制度となり、卒業生613名の内250人程の申込みの下、寄稿や近況報告などを交えて、毎年1回の定期発行をすることができ、昨年で5号となります。学年同窓会開催の年はその案内も載せますので、次の6号（今年7月発行予定）を利用して、前述した10月1日開催の次回学年同窓会案内の掲載も計画中です。（2017年5月記）

1967（昭和42）年3月卒：19期生

19期広報担当者

19期会の総会は、2014年は「光悦」、2015年は「六盛」で開催しました。2016年は19期会会報誌「鴨の河原辺」からの抜粋で報告します。

2016年の11月20日（日）、第34回鴨沂高校19期会総会が、京大時計台下のレストラン「ラ・トゥール」で開催されました。今回は総会に先立ち、京大東一条館（思修館）の館長で、19期会会員でもある川井秀一さんの講演を企画しましたが、講演を楽しみにしているという返信はがきも多く寄せられていました。講演には多くの人達が参加して、話に聞き入りました。日本の風土に合った建築材である木に関する話で、身近にあり普段は気にも留めずに使っている、木というものの価値や歴史などを話していただきました。専門的な内容もありましたが、祇園祭の話などもあって興味深く聞き入りました。

そのあとは「ラ・トゥール」に移動して、今回も例年どおり総会が開催できたことに乾杯し、老年に差し掛かった胃袋にはちょっときつい？フランス料理をつつきながら、いつものように旧交を温め、歓談しました。しかし会半ば、悲しい知らせも伝えなければなりません。前回の総会から1年の間に5名の方が亡くなられ、その中にはこの19期会を立ち上げ、数年前まで中心となって活動してもらった井口悟さんの名前もあり、参加者の中に動揺が走りました。30年を超す19期会の歴史には、このような悲しい出来事も起こりますが、私たちはそれを乗り越えながら、これからも歩んでいかなければなりませんね。今回の会場にはピアノが有り、参加者の四柳さんにジャズのナンバーや、希望者のカラオケ代わりの演奏をしていただき、例年に勝る賑やかな場となりました。今回の川井さんの講演や四柳さんの演奏など、19期会の会員にはいろいろな特技を持った方が大勢居られる事と思います。

今後もそんな方々のお力もお借りして、総会を充実したものとしていきたいと思っています。



1968 (昭和43) 年 3 月卒 : 20期生

山崎 賢二

「金子久美子さんを偲ぶ」

同窓生の皆様、お元気ですか？

同窓会理事長をお引受けして早くも3期9年が過ぎました。この間の同窓会事務局として20期生のアイドル「久美さん」は、寝る間も惜しんで活躍していただきました。忍び寄る病魔にも気付かず余命宣告され、昨年8月9日に逝かれました。二度の偲ぶ会が設けられる程の人気者で今は吉田山にて静かに眠っています。

さて同期会は、最後の校舎見学とセットで開催し、今回は来年の卒後50年の節目に新校舎見学とセットで開催を予定しています。また岡崎中学校の同窓会が9月17日にあり、旧交を深めてきます。

1969 (昭和44) 年 3 月卒 : 21期生

辻 義博

高校入試発表の日、私は堀川高校の掲示板の前に立っていました。合格は確信していましたが。念の為、受験番号をさがしました。見あたりません。もう一度上から番号を追いました。見あたりません。隣に居た友人も「ない」と云いました。2人で前まで行き、再度確認に行きました。すると、合格者番号の固りから少し離れて下の方に、「下記の合格者は鴨沂高校へ…」との趣旨の掲示がありました。私が初めて鴨沂高校を認識した日でした。後日、私達の小学校区は年度により高校が変わることを知りました。(洛東、堀川、鴨沂、日吉など1年ごとに変わっていました。)

鴨沂高校には、卒業中学から多勢の友人が行っていました。その中の一番親しい友人と、1年は同じクラスになりました。友人は私に鴨沂高校のすばらしさ、おもしろさ、鴨沂の自由、鴨沂の伝統、先生方のあだ名までおしえてくれました。何も知らない私にとって、たのしい友人でした。

半分大人になりかけた高校3年が終わり卒業。それから15年後、第1回学年同窓会が開催されました。250人の友人が集いました。以後、2年に一度の割合で同窓会は開催されています。「行きたい時に行ける場をつくっておく」との思いで同窓会幹事がお世話を下さっています。現在も続いています。私たちの友人は全国に、又、海外にも在住なさっています、私が在籍していましたハンドボールクラブのOB会も不定期ではありますが開催されていました。交流試合、在校生もまじえたコンパもありました。そのハンドボール部は、今はありません。クラブの復活を望んでいます。15歳から鴨沂高校が私の一部でありつづけ、卒業生であることを誇りに思っています。

1970 (昭和45) 年 3 月卒 : 22期生

吉川 浄

DVD「夢飛行」プロダクションノート



2011年頃、「近年中に鴨沂高校が解体される」という噂を耳にして以来、情報収集に努め、「鴨沂解体施工2013年8月」という確証を得られたのが、2013年2月。鴨沂高校の資料写真は数多くありますが、“映像

で残すのも一興” “今をのがしたら二度と映像では残せない” という思いも重なり、難しい挑戦ではありましたが、思い出を映像にしてみる事にしました。私達(22期生) などの視点から在学当時の記憶や資料をもとに、レポート構成で面白可笑しく当時を振り返るといふ企画で始動！とは云っても、東京在住の私には物理的に出来る事が限られている為、地元の同期の友に助太刀を依頼。制作内容を説明したところ快諾。安田行秀・門田節両氏に加え、リポーター役にフリーアナウンサーの岩崎裕美氏を迎えて、準備完了。鴨沂全期同窓会理事の安田氏には学校側との撮影許可等の連絡やスケジュール調整・撮影当日の撮影のアシストを、公益財団法人・櫻谷文庫の門田氏には文庫からの資料提供や資料収集・撮影現場でのスチール写真撮影等を依頼。出演者の岩崎さんには資料をもとにコメント作成をお願いし、他の同期の方々からは資料の裏付け等の協力も得て、2013年3月29日午後1時30分鴨沂高校放送室から撮影スタート！クランクインは無事できたものの、撮影当日は限られた時間(3時間半)での超強行スケジュール。開放されない教室・消滅した教室や部屋等、様々アクシデントも重なり、予定していた撮影が思うように消化できず戸惑いだらけ。岩崎レポートも短時間撮影の関係で、すべてリハーサル無しのブツケ本番。こうしてバタバタと駆け足で撮影初日を終わりました。構成の入れ替え・編集・試写・会合・手直し等の日々を重ね、最後の収録はクランクインから約2年後の2015年4月、新校舎の建築現場前でクランクアップとなりました。作品自体は20分少々という短いものではありますが、1つの作品になるまでには様々な人達の協力と、述べ3年半もの歳月を費やし、やっと完成まで漕ぎ着けたという次第です。それに見合った作品になったかは別として、古き良き高校時代の思い出を語る時、その糸口の1つには、なってくれる事でしょう。なおこのDVDは2016年9月に開催された22期同窓会で上演し、参加者全員に1枚ずつお土産として持ち帰っていただきました。

1971 (昭和46) 年3月卒：23期生

小川 達雄



今年4月1日、私は日本弁護士連合会副会長に就任し、京都での弁護士業を一時停止して来年3月までの1年間東京に単身

赴任し、現在、日弁連で仕事をしています。このことを聞いた東京在住の23期生が東京同窓会をやろうと言って、5月29日、新宿のイタリア料理店に12人が集まりました。このうち2人は、わざわざ京都からかけつけて来られました。

仲間のひとりが勤務してきた会社の関係の料理店ということで、とても美味しい料理が並ぶなかで、高校時代のことや中学、小学校の頃までさかのぼって話に花が咲きました。話に熱が入って、しまいにはそれぞれの出身中学、小学校の校歌の大合唱となり、岡崎中、近衛中、錦林小、第三錦林小、北白川小などの校歌が歌われ、最後に鴨沂のスクールソングの全員合唱で締めくくりとなりました。

また来春までに一度集まろうということで解散となりました。本当に心安らぐひと時でした。

1972 (昭和47) 年3月卒：24期生

田口 好幸

冒頭に役員及び関係者の皆様が日々奮闘して頑張っておられるご様子会報等を通じて十分、伝わっており楽しく拝見しております。

さて、実のところこの年齢になるまで卒業してから同窓会に1回だけしか参加させていただいておりません(約30年前になります。)どうしても、その時の印象が雰囲気にならぬ今日に至っております。友達がいなかったのと酒が呑めないという致命的な欠点があったせいかもしれませんが…(笑い)それ以後は、正直何の関心も無く過ごして参りました。参加してない言い訳としまして 実にもっともな理由が記載されていましてので披露します…

- ① 面倒くさい
- ② 会いたくない人がいる
- ③ 遠方に住んでいる
- ④ 人生がうまくいっていない
- ⑤ 仕事が忙しい
- ⑥ ほとんどが結婚している
- ⑦ そもそも呼ばれていない

同窓会に行かない人の理由を紹介しましたが、総称しますと高校時代楽しく過ごせた方は、毎回参加されるだろうし上記7項目に当てはまる数が多くなっていくほど参加が億劫になると思われます。

でも、あいつ今何してる？(TV朝日系)と言う番組を拝見してこれが正に同窓会の良さ、毎回楽しく心弾んで視聴している人も少なくは無いでしょう。

年齢によっても理由が変わってくると思いますが、同窓会は旧友と語らう場であると同時に、出会いの場でもあり、うまくゆけばビジネスにつなげることも出来る場です。

個人情報保護の関係で卒業生全員に案内は難しいでしょうけど、これからは何とか横の繋がりを大切にしていまして今まで参加していなかった人も、一度参加してみると視野が広がるかもしれないですね。

1973 (昭和48) 年3月卒：25期生

南 寛

「10年ひと昔、40年は？」

平成27年6月27日、118名が集い25期初の「還暦同窓会」を開催することができました。万事動きの遅い私に周囲がいらだち、会場の手配から案内状の作成・発送、当日のプログラムまで、一木夫妻、湯浅夫妻を中心に人が集い全てやっていただきました。余談ですが、名簿を整理して気付いたのですが、同級生同士で結婚している人が結構いるのにちょっと驚き。それにお亡くなりになられた方も。

卒業40数年ぶりの同窓会ですから、話のきっかけにと古座谷氏が卒業アルバムを基にクラスごとのスライドを作成してくれました。「揚げば」や「演コン」等の写真と当時はイメージする懐かしい曲を組み合わせた優れもので、これで一気に70年代初頭の鴨沂の世界に戻ることができました。集合写真も撮影し当日の記念品にしたのですが、誰が誰だかわからないということで、ここでも古座谷氏がシルエットの上に名前を貼り付けるという根気のいる作業をしてくれました。スライドDVDは当日の記念品としましたが、まだ手持ちが少しあります。集合写真人名データもありますので、ご希望の方はご連絡ください。

(e-mail minami3@mbox.kyoto-inet.or.jp)

来年の夏には新校舎が竣工するとのこと、その際には見学会を兼ねて、また同窓会を開催したいと思います。幹事を募集します。どうかご協力ください。

京都府立鴨沂高等学校第25期同窓会

平成27年6月27日 於 ホテルグランヴィア京都



京都府立鴨沂高等学校第25期同窓会 平成27年6月27日 於 ホテルグランヴィア京都

1977 (昭和52) 年 3 月卒 : 29期生

栗田 光雄

「40年前のことも覚えてた」

「コーン」「カーン」「キーン」。金属音とともにボイラー室からのスチームが優しく深く、そして暖かくつつんでくれた。けれども正月休みには、その音は聞こえない。3階の化学実験室に三々五々集まった生徒は、ビーカーに水を入れ、ガスバーナーに火をつけて、化学演習の自主ゼミが始まるのを待っていた。鴨沂高校は面白かった。勉強するのもしないのも、何をするのも自己責任のもと、自主独立を尊重しつつ、手を差し伸べてくれた。漢文サークルや世界史の補講など、化学演習以外でも授業のあとに、先生方が勉強したい生徒に付き合って下さった。雨の日には学校に来ない生徒もいるかと思えば、体育祭の時でも参考書の詰まったカバンを下げてやってきた友もいた。「ブランク」を期待しつつ「銀座通り」を徘徊し、時に自主ブランクをつくった。インターハイや国体で活躍する子もいれば、東大・京大・阪大などに現役で合格してくる人たちもいた。男女共学、小学区制、普商ミックスという高校三原則が守られ、ホームルームでしか一緒にならないクラスが一丸となって校長杯を目指した鴨沂は社会の縮図だった。

私たちの3年間は生徒の自治能力が問われた時でもあった。自転車通学が許可制になったり、「仰げば」が紫野グラウンドから北運でのアピールになったり、極めつけは春の演コンをなくそうとまで計画されていた。全校アッセンブリーや縦割りホームルーム、定時制の人が来ても自治会ボックスでやっていた作業など、私たちの学年はなんとか演コンを存続できた。しかし、それが最後になり、先輩たちから受け継いできた伝統を次の後輩たちへ伝えていくことの難しさを知った。

動かなければ流されてしまう世の中で、鴨沂高校は、物事を自分たちで多角的に、時に批判的に考え、行動していくことの大切さを教えてくれた場所だった。「為せば成る」とは思い上がりだという人もいるが、何事も「為さねば成らぬ」であることも学んだ。同窓会の若造だと思っていた29期生も、1977年3月に卒業して40年経ち、同窓会の中堅になってしまった。自分が何を為してきたかを考えると、高校時代の心意気をもう一度取り戻したくなっている。

1978 (昭和53) 年 3 月卒 : 30期生

横井 猛彦

「同窓会から4年」

4年前、母校取壊し前の校舎見学会を兼ねて10数年ぶりの30期生の同窓会がありました。恩師3名、同期生100名の盛大な集まりで旧交を温めました。私はその前の同窓会に出席できませんでしたので高校卒業し

てから初めての再開、36年ぶりの再開となりました。あたま薄くなったり、貫ろく出たり容姿はさすがにだいぶ変化していましたが、しゃべりだすとみんな当時のまま、あっという間にあの頃の間柄に戻れました。『次の同窓会は新校舎の見学を兼ねようということになったのでまだ先だが、少人数でも連絡を取り合っ

て会おうや』という約束をいくつかして別れました。さてその同窓会から4年が過ぎました。なかなか高校時代のように気軽に遊ぶのは難しいですね。たまーに電話がかかってくることはありますが、集まるのはなかなか難しいもんだなと感じます。

まだまだみんな仕事や子育てに忙しいんですね。我々の年代は厚生年金の受給開始年齢が男64歳、女61歳、あとしばらく頑張らんといかんわけです。同窓会が毎年開けるような年齢にはもうちょっと掛かりますが、なんとか新校舎完成の折にはみんな、会いましょう。

1979 (昭和54) 年 3 月卒 : 31期生

石井 崇夫

今回、一度も同窓会に出席したことのない私ですが、ホームページや同期の友人などの話により、31期の同窓会の状況を簡単に紹介させていただきます。

31期の同窓会は、卒業から25年後の2004年、アテネオリンピックの年に、同窓生の御夫婦の呼びかけにより始まったようです。私たち自身の生まれ年がオリンピックイヤーであったこと、また四分の一世紀が経過したという節目の年であったということから始まったのではないかと思います。最初の同窓会は、100名くらいの出席者があったということで、かなりの盛況であったようです。

以後、4年ごとのオリンピックイヤーに開催され、昨年(2016年)の開催で4回目の開催となっています。既に昨年の開催後は、次回、2020年、東京オリンピックの開催年、そして私たちが還暦を迎える記念すべき年に開催するということがホームページで案内されています。ホームページは、「31期鴨沂高校」で検索すれば、ヒットします。

それでは、私も含めまして、同窓会に御無沙汰している同期の皆さん、記念すべき2020年の同窓会には出席しましょう!!

1982 (昭和57) 年 3 月卒 : 34期生

竹井 徳子

「オリンピック選手の息子を持って」

(同窓会報編集委員インタビュー)



編集委員：鴨沂高34期卒業で、ご子息の昂司様がリオ五輪に水球日本代表として出場された竹井徳子様にお話しをお聞きします。まず鴨沂高に通っておられた時はどのような生徒でしたか？

竹井様（以下敬称略）：大人しい生徒でした。バドミントン部に入っていたのですが、そこで現在の主人と出会いました。高校を卒業して社会人になってから結婚しました。

編集委員：その後にお生まれになったのが昂司様ということですね。

竹井：はい、元々私も水が好きで京都踏水会の妊婦コースに通っていました。ですから昂司と水のつながりは生まれる前からあったのです。本人も幼稚園に行くのとほぼ同時に京都踏水会に通うようになりました。小学校でも身体を動かすことが好きでなかでもドッジボールが大好きだったようです。踏水会では級が進むと競泳コース、水球コース、シンクロコースのいずれかを選択するのですが、球技が得意だった昂司は迷わず水球コースに進みました。

編集委員：高校は鳥羽高校に進まれたのですね。

竹井：水球の伝統のある鴨沂高校ですが、残念ながら当時は男子の水球部員が少なく、仕方なく良い指導者がおられる鳥羽高に進みました。家は修学院にあったのですが、東寺のそばの鳥羽高まで毎日自転車で通っていました。雨の日や冬の雪が降る日も自転車で通いました。雪の深い時には何度も何度もスリップして転けながらも通い続けました。自分でやると決めたことはやり通すという性格のようです。それと鳥羽には食堂がなかったので、お弁当を持たせなければいけないのですが、その量が半端ではなく2食、3食分を用意しなければならぬので必死でした。親としてできることは美味しい食事を用意することだけとっていましたので卒業の時はやり遂げた感が爽快でした。大学は日体大に進学し1年生からレギュラーポジションをいただき国際試合にも日本代表として出場させていただきました。2012年のロンドン五輪では出場間際で敗退してしまい、エースとしての実力をアップするために、大学卒業後ハンガリーのプロチームに入りました。水球強豪国ハンガリーの国内リーグで得点ランキングの上位に食い込むほど努力はしたようです。意表を突くシュートタイミングと長い腕が彼の強みとなっていました。

編集委員：2015年にリオ五輪に出場のために帰国されました。

竹井：海外のプロチームでの試合経験が活かされてアジア予選を勝ち抜き、32年ぶりに水球男子オリンピック出場を決めることができました。決まったその瞬間は敵地中国でアウェイの状態のなかでしたが人目も憚らず号泣しました。

編集委員：リオにも応援に行かれたのですね。

竹井：治安が悪いと聞いていましたが、十分に注意したので何事もなく応援できました。水球の結果はやはり世界レベルの壁が厚く本選に進むことはできませんでしたが、最高級の舞台で最高に輝く我が子を観せ

ていただけたこと…感謝の一言に尽きます。オリンピックが終わった後は、昂司はやり切ったという気持ちが強くなり選手生活を引退し指導に専念しています。2020年の東京五輪では是非とも鴨沂高校出身の水球選手が活躍してくれればよいなと思っています。

編集委員：大変興味深いお話をお聞かせいただきありがとうございました。

1983（昭和58）年3月卒：35期生

奥村 秀夫（京都府立鴨沂高等学校学校薬剤師）
「学校薬剤師として」

3年前の今頃スマホで撮った写真を見返していたら、北運動場のプールと旧体育館を取り壊している最中でした。水泳部に所属して、川井千仞先生、諸先輩方に鍛えていただいた私には懐かしい場所です（3年次は受験を名目にほぼ活動していなかったのですが。同級生の高山、寺村君らには迷惑をかけました）。

現在、実家の薬局で薬剤師の資格を生かして働いています。15年程前、前任者の糸岡悟先生を引き継ぐ形で、鴨沂高校の学校薬剤師となりました。学校の諸先生方のお力を借りて、公衆衛生の検査（薬品、空気、照度、水質、プール水等）を行っています。「学校環境衛生の基準」というものに基づき検査を行い、学校の環境が良好かどうか判定します。プールを例にとると、まず施設に破損・故障が無いか確認。水質は、pH・遊離残留塩素・透明度を毎時間測定（それらを先生にプール日誌に記入）して貰います。それ以外に年に一度、プール水の定期検査（大腸菌、一般細菌、総トリハロメタン、濁度…等）を生徒さんが泳いでいる中に行い、水質が基準値内かを判断します。数年前、プールが白く濁り基準値を超えてしまいました。原因としては、プール水の循環装置のろ過異常が考えられました（緑色なら塩素不足による藻の発生が考えられる）。ろ布を交換し、ろ過してもろ過しても、濁りが取れず、（装置の老朽化が考えられ、数年前から濁度は基準値内だが、上昇していた）結局相談して、業者にスーパークロリネーションという方法で、白い濁りを取ってもらいました。

新しい校舎が完成し、早く快適な環境で生徒さんが学校生活を送れるよう楽しみにしています。



【鴨沂高校の旧プール解体直前、最後の日にOB O G、現役選手らが集まりました。H26. 4. 29撮影】

1995（平成7）年3月卒：47期生

鈴木 穂人（そらうみ法律事務所奄美事務所）

「東京渋谷の雑踏で鴨沂に会う」

「はい。これで面接は終わりますが。他に何かありますか?」。どうしても入りたかった事務所の採用面接の手応えは芳しくなかった。ダメだ。30歳を越えての東京は厳しいな。

そんなことを感じた直後、居並ぶ面接官の後ろから「君は鴨沂か?」と甲高い声が飛んできた。声の方向をみるとベテランのK弁護士だった。東京渋谷の小さなビルの一室で「鴨沂」の名前を聞くことがあるなんて。僕はキツネにつままれながらも、提出した履歴書に「京都府立鴨沂高等学校卒業」と書いたことを思い出し、「良くその漢字が読めましたね。」と答えた。するとK弁護士は「僕も鴨沂だ。」ということになり、一気に「京都・吉田」を中心とした地元談義となった。時間にして1分程度だった。

ただし、僕の採用面接自体の手応えはなく意気消沈の帰路だった。それが突然新幹線の車中で所長からの着信あり。「採用します」の一言。一発逆転ホームラ

ンだった。

この逆転ホームラン、僕は密かに「鴨沂」の学閥採用だと思っているが、その真相は未だにわからない。実際はそんな不合理なことはなく、そもそも東京にそんな学閥はない。真意は不明ではあるが拾われたことに間違いはない。そうして僕はその事務所に入所し多くのことを教わった。だからこそ今の僕がある。

では、なぜ、僕は31歳の履歴書に「鴨沂」を書いたのか。そこには「鴨沂」での3年間に僕なりのこだわりがあったのだと思う。そして、そのこだわりが採用面接をはじめとする進路に影響していたのだと思う。では、どんな3年間だったのか。それはまた別の機会に思い出してみたい。

いずれにせよ、「鴨沂」での経験や出会いが今の僕につながっている。思えば遠くへ来たものだ。ただ、当時の僕が今の僕を見てどう思うのか。日々の忙しさを言い訳に世間に流されていないか。抗うことを恐れていないか。自由への責任を全うしているのか。K弁護士に恥ずかしくない仕事をしているのか。そんなことを感じる40歳の初夏である。

2017(平成29)年3月卒：69期卒業生 報告

第69期生 二口 朝陽

「鴨沂の食堂」

僕は家から近いから、という理由で鴨沂を選んだ。が、後悔はなかった。鴨沂に来て良かったと特に思うことは、食堂のご飯がおいしかったことだ。鴨沂の食堂はご飯をつくっているおっちゃんやおばちゃんの愛を感じることが出来、食堂でお昼ご飯を食べる日は昼休みが待ち遠しかった。

一番好きなメニューはオムカレーだ。中学生への学校説明会の際にもオムカレーのおいしさを熱弁する程好き。コクのあるカレーとご飯、チーズ、卵が最高にマッチしている。テストの最終日は頑張った自分へのご褒美として頼んでいた。

喉が弱く、頻繁に喉を痛めていた僕が助けられたものは、とりなんぼうどん。これを食べると体が温まり、喉が楽になった。うどんなら、とろーり卵のあんかけうどんもおいしい。安いし、おなかもふくれるうどんだ。何を食べるか迷った時には、おいしいカレーをつかったカレーうどん。ガッツリ食べたい時には、ソースかつ丼。たまにしかメニューに載らないチキン南蛮や手作りハンバーグもうれしい。豊富なメニューで3年間飽きることはなかった。

僕にとって食堂の存在はとても大きく、おいしいご

飯の力もあって、部活や勉強に打ち込むことが出来た。新校舎になって食堂が存続するのかどうかは知らないが、いつまでもあり続けてほしい。

第69期生 道方穂乃佳

新学期が始まり慌ただしい日々を過ごしていますが、鴨沂高校生を見かけると私もついこの間まで制服を着て登校していたのだなと懐かしく思います。

私は、現在看護学校に通っています。文系だった私からすると理系の授業はとても難しく今まで以上に勉強に力を入れています。つらいことも多いのですが、新たな友達もでき助け合いながら自分の将来の夢である看護師目指して頑張っています。

私たちの年代はちょうど高校の入試制度が変わり、土曜授業もできたりと新たな取組が始まった年でもありました。京都文化の授業では着付け体験やおぼんざい作りなど普段体験できないことを学び、とても思い出に残っています。

私の高校生活の思い出は数え切れないぐらいありますが、なかでも部活や行事はとても思い出に残っています。私は3つの部活（バドミントン、軽音楽、合唱）に入っていて忙しくもありましたがとても充実していました。合唱クラブでの最後の定期公演会では多くの

方に観に来ていただき最後に「とても良かったよ、お疲れ様。」と言ってもらった時は最高の褒め言葉だと感じました。そして文化祭の軽音ライブでは難しい曲も一生懸命練習して本番成功した時の喜びは忘れられません。高校生活最後の体育祭は西京極の競技場で行われました。友達とメガホンを作って一生懸命応援し

て、競技の時は精一杯走って、クラスTシャツがある分、より団結感がありとても楽しかったです。

友達との些細な会話でさえも今となっては大切な思い出です。鴨沂高校で最高の先輩、後輩、先生そして友達に会えて私は幸せ者でした。これからも成長し続ける鴨沂高校を楽しみにしています。

水泳部OB・OG 報告



第12期生 竹内 和也

(’64東京・’68メキシコ両五輪水球男子日本代表選手)

「懐かしの部活」

私が高校に入学したのは、敗戦から僅か10年余り、昭和30年代の初めであった。京都に生まれ、“水”に出会えたことが不思議なくらいであるが、今思うと目の前に琵琶湖疎水が流れていたからであろう。もの心つくと支流の白川で水遊び、小学校に上がると背の立たない疎水が夏の遊び場となっていた。が決して安全な場所ではなく、毎年何人もの溺死者が出た。小魚を取るために潜り、危険なインクラインの渦にもまれるうちに、泳ぎは上達していった。小中学校にはプールは無かったが、岡中に進むと水泳部に入り、シーズン中は東山高校のプールで泳いだ。鴨沂に進学、そこで初めて“水球”と出会う、そして徐々に球技の魅力に取りつかれていった。チームは試合ごとに成長を遂げ、勝ち続けることになる。環境にも恵まれ、東京教育大でバスケットボール選手だった部長の川井先生からフォーメーションを、そして速水監督と野村コーチから細かなテクニックを教わった。後に、国際大会でも通用した鴨沂特有の泳ぎながらのハネシュート（鴨沂シュート）、その感触を得たのもこの頃である。母校のプールは浅くて狭いため、練習はもっぱら京大の旧三高プール、大学生が終わってからなので、日がとっぷり暮れる頃まで続いた。川井先生が自転車を漕いでライトを灯しその薄明かりを頼りにボールを投げ合った。

水も貴重な時代で、真夏には腐って異臭を放ち、表面に青藻が漂い始めても使い続けた。プールから上がると皮膚はノリを塗ったように突っ張り、テント生地で作った水着は薄緑色に染まっており、シーズン中はしばしば眼科医のお世話にもなった。

幸運なことに卒業するまでの2年間、我々のチームは負けを知らなかった。地方大会はもとより、インターハイや国体でも取りこぼしは皆無で、ライバル校の慶應や済々黌に、幾度も地団駄を踏ませた。それは鴨沂

水球の新たな黄金期の到来でもあった。苦しい練習に耐え、勝利を喜びあった仲間と過ごした日々は、私にとっては何物にも代え難い、青春時代のお宝である。

第36期生 齊藤(旧姓：今村)まゆみ

(筑波大学准教授)

「鴨沂からトビタテ！」

久しぶりに訪れた鴨沂高校は改築工事中であった。すでに解体されてしまったが、旧プールには深い思い出がある。ボイラーのない室内プール、井戸水、浴室のタイル張りのような部室、水深2mで低い梁天井、そこを飛び交う弾丸ライナーの黄色いボール。当時私は水泳部、競泳では国体・インターハイに出場していたものの、同じプールで活動する水球に興味津々、ついに一步を踏み出してしまった。

そんな私を川井千仞先生、同級生の小山君、後輩の今村君たちも快く受け入れてくれ、卒業後は筑波大学へ進学、水球チームの立ち上げと全国女子水球大会(今は日本選手権に昇格)の開催に奔走した。気づけば水球に関わって35年、女子日本代表チームにも帯同し、FINA ワールドカップの際には各国の代表たちと協働して「女子水球をオリンピック種目に」という署名活動もした。そして2020年東京オリンピック、女子水球日本代表チームが初出場を果たす。

日本の水球界で鴨沂高校といえはとて有名、数々の大先輩がいらっしゃることから、私が自己紹介で「鴨沂高校出身です」と言えば、何かとスムーズにことが運んだ。関東に生活拠点があるにも関わらず、鴨沂高校というだけで、つながりと広がりが出てきている。とてもありがたいことである。今日では女子水球界にも優秀な選手や指導者を輩出しており、次世代に私の思いが引き継がれたことを実感し、鴨沂卒業生としては嬉しい限りである。東京オリンピックで鴨沂のみなさんが活躍する姿を楽しみにしている。



事務局だより

新校舎落成記念事業 募金趣意について

来る2018(平成30)年夏新校舎落成を目指して建築工事がすすめられています。正門(九条家の門)と正門正面の本館(講堂の建物)、正門右側の図書館棟を残して、校舎は全て解体され、運動場(北運)は、更地にしてグラウンドとして使用されています。完成時には、公立高校では日本一ともいえる機能を備えたプールもお目見えます。同窓会は、平成26年より新校舎落成記念の募金事業に取り組んでおりますが、学校からの要望で、保存される本館3階講堂の幕(緞帳)を寄贈させていただくことにいたしました。幕(緞帳)の原画は、第4期卒業の日本画家上村淳之先生が描いてくださいます。先生のご厚志を生かし、その製織は緞帳制作に輝かしい実績を有する川島織物セルコンに発注いたします。

記念事業の内容は下記の通りですが、何卒この趣旨にご賛同いただき、同窓会会員各位に格別のご高配のもとにご寄付を賜りますようお願い申し上げます。

会長 佐々木佳継 (21期) 理事長 山崎 賢二 (20期)

記念事業次第

1. 新校舎落成記念式典等の開催(見学会、講演会他)
2. 講堂の幕(緞帳)の寄贈
3. 旧校舎の資料目録の作成と保存
4. 母校の教育環境の充実(設備・備品整備の支援他)
5. 同窓会活動の充実(同窓会報記念号発刊他)

募金要項

1. 募金目標総額 2,000万円
2. 募金対象者 同窓会員およびご賛同者
3. 募金の金額 1口 2,000円(何口でも結構です)
4. ご送金方法 本誌同封別紙の趣意書にある払込票または下欄表記のゆうちょ銀行口座へお振込下さい。
(本項は別紙にても、ご案内しております)

会費や寄付金のご送金は次の口座をご利用下さい

ゆうちょ銀行 口座記号番号 01010-1-55572
加入者名 鴨沂高等学校同窓会

同期の方で、今回同窓会報を受け取っておられないとお聞きになった方は事務局にご連絡下さい。
Tel & fax : 075-212-4445 メール : ohkidoso@yahoo.co.jp

同窓会役員		
2017(平成29)年4月現在		
会長	佐々木 佳継	(21期)
副会長	西尾 齊	(10期)
〃	青木 栄子	(19期)
理事長	山崎 賢二	(20期)
会計	藤井 義明	(24期)
〃	南 寛	(25期)
監事	戸川 隆博	(11期)
〃	廣瀬 ちづる	(21期)
理事	木村 要	(1期)
〃	仲谷 喬	(3期)
〃	藤野 英雄	(4期)
〃	小林 哲夫	(5期)
〃	松下 勇	(8期)
〃	高石 秀雄	(8期)
〃	小西 逞夫	(10期)
〃	高崎 肇	(12期)
〃	川島 康之	(13期)
〃	木村 正	(14期)
〃	山本 早苗	(14期)
〃	谷口 明日香	(15期)
〃	佐川 公也	(16期)
〃	高井 一弘	(16期)
〃	山岡 亮平	(17期)
〃	鈴木 正穂	(19期)
〃	辻 義博	(21期)
〃	井上 義信	(22期)
〃*	安田 行秀	(22期)
〃	小川 達夫	(23期)
〃*	前田 次世	(23期)
〃	橋本 伸生	(25期)
〃	天川 明久	(26期)
〃	岡田 憲和	(29期)
〃	奥田 美智子	(29期)
〃	横井 猛彦	(30期)
〃	石井 崇夫	(31期)
〃*	福田 智子	(34期)
〃	柿阪 宜孝	(35期)
〃	岡島 永治	(45期)
〃	鈴木 穂人	(47期)
〃	森木 吉人	(48期)
〃	石野 尚志	(62期)
特別顧問	上野 民夫	(8期)
顧問	藤井 直	(校長)

(*は事務局担当理事)

京都府立鴨沂高校同窓会 会計報告

2014(平成26)年4月1日~2017(平成29)年3月31日 (3年間) (単位:円)

収入の部

科目	予算額	決算額
前期繰越金	6,233,251	6,233,251
年会費収入	4,070,000	4,495,000
入会金収入	880,000	880,000
總會収入	850,000	664,000
受取利息	750	1,604
名簿等収入	6,000	11,640
特別から繰入	3,000,000	3,000,000
合計	15,040,001	15,285,495

支出の部

科目	予算額	決算額
總會費	1,700,000	988,443
会報製作発送費	2,800,000	2,359,950
会議費	360,000	303,942
通信費	240,000	309,658
雑費	600,000	647,754
施設使用料	360,000	360,000
奨学金	1,296,000	1,488,000
支部活動助成金	180,000	180,000
活動維持費	1,500,000	1,030,798
特別へ繰出	0	0
小計	9,036,000	7,668,545
次期繰越金	6,004,001	7,616,950
合計	15,040,001	15,285,495

次期繰越金明細

科目	金額
通常貯金	4,221,005
振替口座	38,000
小口現金	0
定期定額貯金	3,000,000
小計 ①	7,259,005
特/通常貯金	2,030,686
特/振替口座	3,869,092
特/定期貯金	7,000,000
特/小口現金	0
特/小計 ②	12,899,778
合計 ① + ②	20,158,783

特/は校舎改築記念事業の特別会計科目の意

京都府立鴨沂高等学校同窓会 会則

第1条 (名 称)

本会は、京都府立鴨沂高等学校同窓会と称する。

第2条 (本 部)

本会は、本部を京都市上京区荒神町の鴨沂会館内に置く。

第3条 (目 的)

本会は、会員相互の親睦をはかり、母校の教育への後援を行い、もって公共の福祉に寄与することを目的とする。

第4条 (事 業)

本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 会員相互の親睦をはかること。
- (2) 母校の教育環境の充実に関すること。
- (3) 生徒の福祉と健康の増進に関すること。
- (4) その他、本会の目的を達成するために必要なこと。

第5条 (会 員)

本会は、次の会員をもって組織する。

- (1) 正会員 母校卒業生、および母校に在学している、または、在籍したことのある者。
- (2) 特別会員 現、旧職員。

第6条 (総 会)

本会は、3年ごとに会長の招集により定時総会を開くほか、必要に応じて臨時総会を開くことができる。

2. 総会では、事業の経過および計画、会計収支決算および予算、会則の改廃ならびに役員人事の報告を行う。
3. 総会の議長は、会長または理事会が指名した理事がつとめる。
4. 総会において議決を行う場合は、出席者の過半数により決定する。

第7条 (年 度)

本会の事業および会計年度は、4月1日から翌年の3月末日までとし、監事による会計監査を経て、総会において会計収支報告を行う。

第8条 (役員および会務)

本会は、次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名 理事の決議により正会員の中から選出する。
会長は、会務を統括し、本会を代表する。
- (2) 副会長 若干名 理事の中から会長が委嘱する。
副会長は会長を補佐し、会長に事故がある時は、これを代行する。
- (3) 理事長 1名 理事の互選により選出する。
理事長は、会務の執行を推進する。
- (4) 会 計 2名 理事の中から推薦により会長が委嘱する。
会計は、本会の経理を担当する。
- (5) 理 事 20名以上50名以内 正会員の中から推薦により会長が委嘱する。理事は、理事会を構成し、事業の推進をはかり、目的の達成に協力する。
- (6) 監 事 2名以上3名以内 理事の決議により正会員の中から選出し、会長が委嘱する。監事は、本会の会計を監査する。会計監査は、中間と期末に行う。
- (7) 顧 問 1名 母校の現校長に委嘱する。

第9条 (任 期)

役員任期は3年とし、再選を妨げない。ただし、次の役員が選任されるまでは、その会務にあたる。

第10条 (理事会)

本会は、適時に理事会を開催し、次の事項を議決する。

- (1) 事業の経過および計画
 - (2) 会計収支決算および予算
 - (3) 総会の開催
 - (4) 役員承認
 - (5) 会則の改廃
 - (6) その他、必要な事項
2. 理事会の議長は、理事長または理事会が指名した理事がつとめる。

3. 理事会の招集は、会日の2週間前までに、議事の主旨を示して会長または理事長により行う。ただし、監事が必要と認められた時、または理事の二分の一以上の要求がある時は、その代表ができる。

4. 理事会の議決は、監事を除く議決権総数の過半数により決定する。

5. 理事会は、本会の活動情報を広報するとともに会員の意見集約につとめる。

6. 会長または理事長は、会務に関して専門的な問題を処理するために、若干名の理事による専門委員会を設置することができる。

第11条 (常任理事会)

理事長は、理事の中から若干名の「常任理事」を指名して常任理事会を招集し、会務に関しての協議および執行にあたらせることができる。

第12条 (会費等)

本会の運営に必要な費用は、入会金、会費、寄付金および雑収入をもってこれにあてる。

2. 入会金は金2,000円とし、入学時に納入する。
3. 正会員は、年会費として、金2,000円を納入するものとする。ただし、在学中は、これを免除する。

第13条 (経 費)

本会の役員は、その業務執行につき必要な費用を、活動費として受け取ることができる。

第14条 (資金の管理と運用)

理事長は、本会の資金管理に関しては会員全員の共有資産であることに鑑み、その残高の確認には、特段の留意をしなければならない。

2. 理事長ならびに会計は、本会の資産運用に関しては元本が保証された安全かつ有利なものを選択するように留意しなければならない。

第15条 (議事録)

総会、理事会の議長は、議事の経過の要領と結果を記載した議事録を作成し、署名押印して理事全員に開示し、関係資料と共に本部に保管する。

第16条 (細 則)

本会則の施行について必要な事項は、理事会の議決を経て別に定める。

第17条 (支 部)

本会は、理事会の承認により、支部を設置することができる。

2. 支部は、責任者を定めて、支部会員を掌握しなければならない。
3. 支部の維持や運営に対する助成は、理事会の承認を経て行うことができる。

第18条 (変更届)

会員は、住所や姓名などに異動があったときは、そのつど本会に報告するものとする。

第19条 (個人情報)

理事は、会員の情報を「個人情報の保護に関する法律」の規定に従い、慎重に取り扱わなければならない。

第20条 (会則外事項)

この会則に定めのない事項については、他の同窓会慣習や法令の定めるところによる。

付 則

1. 本会則は、昭和25年5月21日より施行する。
2. 昭和33年10月11日 一部改正
3. 平成8年11月18日 一部改正
4. 平成11年11月14日 一部改正
5. 平成20年10月8日 一部改正
6. 平成23年9月16日 一部改正
7. 平成26年7月5日 一部改正
8. 平成29年1月28日 一部改正

新校舎落成記念事業へのご寄付の御礼

同窓会の皆様の多大なるご支援により、2017年6月末の時点で寄付金は14,131,139円となりました。

誠にありがとうございました。今後とも、更なるご高配のもとにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新校舎落成記念事業 募金者一覧 (中間報告) [敬称略]

(2014年9月1日～2017年6月30日)

番号	氏名	番号	氏名	番号	氏名	番号	氏名	番号	氏名	番号	氏名	番号	氏名
[1期]													
010120	中野 和子	030244	森見 真次	031727	岡本 妙	060525	坂田 敏夫	070826	田邊 康雄	080818	斉田信一郎	090744	馬野 喜夫
010123	谷 徹哉	030246	吉村 智	031734	根尾 道子	060531	十司 富夫	070831	長尾 正志	080827	田中 貞明	090801	池田 眞吾
010214	木村 要	030319	小林 嘉雄	031813	伊藤ゆり子	060552	若林 正造	070841	東嶋 功	080833	木村 正子	090803	清水 和子
010237	藤末 慶	030326	桜田 洋	031817	北尾 幸一	060607	袖岡 実	070850	山田 栄一	080839	中島 敏子	090806	崎山美智子
010244	山田 一夫	030338	岩下 淑子	031828	吉田 晴子	060627	蜂須賀辰雄	070852	渡辺 孝雄	080903	有馬 稔	090808	松浦 敏子
010308	二宮喜久子	030340	田辺 幸子	031833	西村 考七	060634	増田 博生	070906	市川 忠男	080929	板谷 勝子	090821	田井 清
010314	北林 修治	030416	山本 栄子	031837	牧野 国男	060644	横山 淑子	070908	伊藤 亮三	080937	福島 玄	090837	新谷 知子
010328	長井 宏	030417	金沢 宏			060714	角野 宏達	070910	今井 章	080938	福島 俊平	090903	古田香代子
010347	和田 秀俊	030426	馬場 貞子	[4期]		060716	川合 弘	070915	笠原 晋一	080939	藤井正之助	090910	奥村 敬
010413	川上剛太郎	030442	宮川 良男	040124	西 千代子	060727	白井 弘一	070918	木村 哲	081007	石川 絹恵	090912	松岡 和子
010504	石橋 道弘	030447	横山 修一	040325	橋本 直樹	060805	若崎 衛	070923	小池 聖児	081018	久野 広子	090913	西田 洋子
010531	新美 達郎	030513	熊野 糸	040328	春本 功	060813	松垣あけみ	070929	杉江 孝夫	081032	中島 貞子	090920	泉田 敦子
010622	田中 郁三	030529	西村 竹三	040441	本庄万里子	060907	井上 修三	070933	中川聰七郎	081035	渡辺 晴善	090923	浜田美代子
010624	窪田 和子	030533	濱 吉郎	040506	大手 桂二	060909	上田 廣由	070945	安威 徹	081038	松本 明夫	090926	西向 秀禮
010633	春本 謙一	030537	福村 信義	040517	山添 睦代	060918	北畠 信子	071009	石丸 豊子	081044	山中 忠男	090928	野向 忠弘
010709	大野 友資	030602	天野 城二	040518	木村 昭夫	060938	松居 孝子	071032	菅 ヨシ	081047	宮崎千恵子	090935	志賀美智子
010710	藤本 昌子	030619	伊藤 京子	040533	福田 健	060943	村井 茂	071042	牧田 道雄	081130	中山 明	090939	大峰 敏子
010715	山下 俊平	030625	古下 由子	040632	藤林 修一	061006	伊藤 隆治	071103	伊藤 巖	081135	池田 啓子	091003	築地 綾子
010737	藤田 清	030632	仲谷 喬	040645	吉川喜久子	061021	楯谷 洋子	071202	安藤 和彦	081138	広瀬 和子	091011	小野 武男
010804	稲井 新三	030642	佐野 康夫	040719	田辺 照雄	061033	松村眞佐子	071226	高木 正暢	081211	上野 祐嗣	091013	川上 朝子
010822	瀬山 博郎	030646	山手 博子	040815	鈴木 敦(物故)	061107	数下富美子	071227	室 幸子	081219	志賀 敬二	091033	前田 昭平
010844	村山 智一	030704	安藤 又雄	040818	高木 正儀	061112	加倉 史郎	071229	柴田 一子	081239	松下 勇	091038	椎原 道子
010845	志賀 良子	030715	森中 容子	040850	渡辺 新也	061120	島田 武俊	071237	西別府葉子	081243	岩木 節子	091039	内貴栄美子
010901	飯野昭司(物故)	030723	竹中 清蔵	041020	山本 直枝	061123	小野 成子	071239	清水 禧子	081310	山岡由利子	091108	佐野 弘子
010902	藤本 輝子	030725	谷口 良雄	041035	中村 準一	061124	杉江みち子	071306	辻 隆子	081316	野村 絹代	091112	小川 晋
010924	藤本 君子	030730	松岡 啓子	041132	常田 弘之	061202	桐木美恵子	071310	山崎千壽子	081318	山崎本よし子	091115	川手那彦(物故)
		030741	鈴木 璋子	041134	中川 望	061208	落合加代子	071312	落合 康雄	081320	黒川 令三	091201	朝尾 郁雄
		030743	林 とし子	041323	武田志津子	061226	佐伯 静子	071315	奥山 博子	081323	小川 雅子	091209	垂井 淑子
[2期]		030746	安田 和夫	041415	誉田 巖	061235	牧 陽二郎	071332	鳥居 靖司	081335	西村 康	091221	三田村久美子
020103	金井 文子	030808	小笹 太郎	041424	高地登司雄	061237	松尾源一郎	071341	古川 雅雄	081338	川 ミネ子	091233	保住あや子
020105	牛田 弘子	030809	岩佐 氏昭			061240	上野 英子	071347	武内 初美	081341	藤井 行雄	091238	平井 常夫
020112	川出 弘	030813	木村 隆次	[5期]		061317	河原田眞砂子			081342	山田喜代子	091244	小泉 綺子
020221	篠宮 義和	030814	金井塚彰子	050114	梶 宏	061330	壇口 良子	[8期]		081346	宮川 友一		
020222	末包 光太	030831	前田 康子	050139	多田智恵子	061331	壇上 貞子	080109	衛湖原郁夫			[10期]	
020229	永田 幹人	030840	松浦 晋平	050140	藤本 典子	061338	梅影 愛子	080111	岡井 満			100115	北村 春生
020240	松村 保	030847	田中 容子	050233	長岡 利子			080129	斉藤 英三	[9期]		100116	楠原 昭顕
020245	村瀬 博子	030917	高野 文雄	050234	神中 信輔			080131	竹中賀津己	090102	森本 陽子	100130	中野 隆幸
020248	武石富佐子	030918	平谷 知子	050240	竹村 義弘	070104	上田 善昭	080133	谷川 健二	090123	西出 英子	100222	瀬戸 達雄
020304	薄木 滋堂	030939	月見里裕子	050242	野口真知子	070113	亀田 壹功	080133	中島 信夫	090125	間 南都子	100242	宮崎 俊一
020312	齋藤ヒロ子	030943	広間 博子	050326	西川 康二	070118	小山 修夫	080140	三谷喜美子	090126	伊達 正幸	100303	飯沼 武男
020322	小川 道子	030945	池田あきら	050414	絹川 定	070120	小山多嘉子	080143	堀口 元生	090127	田中 和	100314	西村 照夫
020340	尾田 翠	031015	小池 恒範	050417	小林 哲夫	070124	湯原 愛子	080201	中澤 良子	090131	奈良 正倫	100315	小西 達夫
020408	井丸良夫(物故)	031017	里 乙史朗	050418	内海 定子	070127	杉山 京介	080213	岩崎 滋	090134	林 英雄	100412	木下 舜
020436	中居 篤也	031018	田路 幸子	050510	前川 恵子	070142	富増恵一郎	080232	関川 佳生	090139	神山美佐子	100413	北村 憲彦
020521	佐々 良明	031021	竹内 聚	050541	萩井 敏	070144	長谷川眞二	080237	中川 紳介	090208	大竹 三雄	100430	西村 教光
020528	鈴木智恵子	031025	中村 治方	050602	中村 明子	070146	熊野 和子	080244	山本 政子	090212	小林 治子	100525	宮村 明子
020619	山下 房子	031041	松村 直行	050639	津田 孝代	070207	大賀 允	080310	大西 脩	090214	小林 俊一	100543	村上 晶子
020632	遠山 明	031043	山田 菊恵	050704	池永哲也(物故)	070227	中川 龍晃	080323	鈴木 武彦	090221	井上摩耶子	100606	岩崎 健滋
020640	細井 賢治	031106	櫻木 純子	050724	田中寿美子	070230	西村 魏美	080337	谷戸 隆郎	090237	馬場 常好	100711	岩崎 重雄
020642	西林 洋子	031118	駒井 清次	050743	植田 淑子	070238	船越千恵子	080345	村山 隆郎	090241	藤本 正男	100715	加納 かよ
020648	亘 信夫	031133	門田 綾子	050812	岩田 善次	070247	森本 幹雄	080346	本 政信	090304	山田 和子	100725	井上 静子
020701	青木 誠	031134	高橋 洋子	050825	白澤 宏子	070348	三浦 敏夫	080349	山本茂樹(物故)	090309	尾崎 隆雄	100731	西村 眞幸
020804	若島 昭夫	031138	松岡佳永子	050834	西尾 允代	070353	山本 孝夫	080412	鎌形 一夫	090315	楠瀬 桂	100732	西山 孝
020806	大久保 峻	031143	前野 了信	050837	間 大二郎	070408	山川 準一	080426	泉 淳子	090319	阪上 賢二	100819	辻 紀美子
020817	日下 千鶴	031145	太田 久恵	050909	得能みや子	070409	安藤 孝子	080429	飯田 吉平	090325	仙石 晋	100825	小邨 利一
020819	鈴木 尚	031147	吉田 重雄	050910	渡辺 恭子	070438	白子 俊子	080436	原 敏郎	090337	石村 敦子	100907	大西 邦雄
020821	栗居 三郎	031224	河野 末子	050916	桜井 充三	070516	大角 泰子	080504	塚本 光子	090341	梅村 吉恵	100921	久保川信之
020828	栗原 美里	031228	立田 信介	050922	谷口佳都子	070518	柿阪 又治	080506	猪熊 兼勝	090401	赤野 嘉孝	100934	西川 武久
020845	矢田部三郎	031229	村岡 洋子	050925	田尻 正夫	070519	片岡 行雄	080507	上野 民夫	090406	今井 達夫	100937	佐野 紀宏
020907	圓城 正男	031247	清澤とも子	051018	松村 敦子	070523	橋口 淑	080533	土岐 康夫	090411	奥井 英夫	100942	古柄 弘
020920	荘林 久男	031325	野村 能孝	051036	細野 義郎	070528	山口 みち	080543	村山 敦	090417	木羽 孝子	101003	乾 浩
021010	大槻 彰	031336	野村 總一	051111	柿阪 正夫	070530	遠藤 尚子	080617	芝田 研爾	090426	亀村 峰子	101109	岡田谷勝久
021020	小西 靖彦	031342	向井 正一	051132	永澤 正幸	070602	澤瀉 吉子	080618	齊藤 政	090431	橋爪 範子	101239	栗田 正子
021040	小西真佐子	031405	服部 善子	051141	竹村 清子	070611	熊本 昭男	080619	下川 潤	090440	野間富美子		
021107	尾崎 泰雄	031449	吉村 陽三	051149	藪本 光雄	070617	志岐 正靖	080644	山口 基継	090506	瀬川 睦子	[11期]	
021138	山本 一雄	031514	皆藤るみ子	051337	岡野 孝子	070622	高木 弘毅	080647	松浪 清子	090507	小西 昭子	110103	荒木 敏弘
021217	嶋本 謙	031522	館谷 喜一	051418	楠本とし子	070624	田村 卓朗	080705	上堀 靖男	090511	内山 義彦	110104	石塚 稔
		031530	竹内 順子			070630	永沢 信毅	080707	大西 良子	090517	木下 栄造	110108	南塚トヨ子
[3期]		031532	大川真知乃	[6期]		070636	伊達 紀子	080708	加藤 類子	090522	越田 熱	110111	狩野 雅史
030103	加藤恵美子	031545	横田弘之助	060103	井山 勝元	070637	藤田 宗	080712	小山 信一	090529	高島 徳行	110113	山田 薫
030113	加藤 幸治	031549	岡本 艾子	060149	矢野 清一	070647	横田 俊男	080723	高石 秀雄	090535	岡澤ひろ子	110116	黒本 平一
030130	山下 椰子	031601	高尾 晴子	060228	西口 義展	070702	秋田 絢子	080726	土田 元明	090537	伊藤 博子	110119	山下 洋子
030139	藤井 正子	031611	太田 達男	060238	布留 容一	070704	今岡 公榮	080728	中野 隆雄	090604	梅本 進	110127	谷口 全平
030150	上野美佐子	031624	佐々木郁雄	060328	伊藤 治子	070709	加藤 保弥	080732	矢島 和子	090631	中川 洋一	110131	西尾 敏男
030214	木村 磐根	031630	田村 照彦	060347	時山 慶子	070712	木村 孟章	080734	藤田 泰弘	090632	中村 勇	110134	林 凌公
030229	八田 守	031703	宮地 保子	060418	草生 知治	070717	鈴木 淳利	080741	宮川 昌幸	090704	一井 毅	110137	日野 芳文
030233	角田 玉手	031707	中嶋美智子	060428	田口 二朗	070731	阿部 真弓	080802	内山 延彦	090727	高橋 莞子	110140	古原 英男
030239	三井 勇	031719	谷口 泰義	060430	小関 馨子	070736	藤森 弘次	080805	大里 章幸	090734	長東 皓司	110205	山本 和子
030241	水口 千里	031725	根尾 敬次	060431	若菜 繁子	070741	山本 進	080806	太田 雅巳	090735	角田 敏子	110206	片山美和子
03024													

番号	氏名	番号	氏名	番号	氏名	番号	氏名	番号	氏名	番号	氏名	番号	氏名
110214	小林 幸雄	120728	小林幸子(物故)	140227	鈴木 昌子	161006	岩崎 要子	190727	辻村 哲夫	220232	吉田 聖子	350207	井上富美子
110217	加藤 元子	120730	野口 武彦	140235	堀江 恒雄	161239	桂 厚子	190731	大石美知子	220236	文字 悦子	350216	柿阪 宜孝
110224	鶴田 猛	120733	横矢 綱子	140240	丸谷 冷史			190742	池宮城直美	220311	若知道昭子	350727	高山 康彦
110225	日川 隆博	120739	吉田(細井)昭子	140241	塚野恵美子	[17期]		190822	高嶽 博	220312	柴田 良明	360928	西村 剛造
110226	中本捷八朗	120742	見島 正人	140324	本橋之乎路	170116	駒井 綾子	190832	ハッチャー保子	220323	中瀬 和夫	380137	服部 晶子
110239	松本 康宏	120745	吉田左千雄	140410	石田須巳子	170117	三浦 重美	190836	福山 秀次	220513	門田 節	380208	山下知佳子
110243	安田 祐三	120810	松岡 佳子	140445	山本 早苗	170141	村田 裕	190839	高嶽多恵子	220514	野村 芳美	380706	橋本 真希
110244	山下 道子	120814	門 嘉明	140514	奥村美佐子	170143	森 真二	190924	竹端 章	220529	乗松 良徳	390529	長谷川万里子
110248	米田 崑造	120823	佐伯 昭宏	140526	田村 滋	170201	麻田 俊次	190935	大嵩 成子	220604	井上 義信	390811	赤坂 暢子
110305	江口 正紀	120826	高島 靖弘	140541	松村 眞治	170239	三ツ橋一実	190939	藤川 慎一	220630	上田 裕美	390812	片山朝夕美
110309	高橋 洋子	120832	田畑 盤臣	140611	岡本 紀男	170303	安藤美恵子	190942	眞下 利夫	220712	城戸 宣正	391029	細崎 論
110328	殿村 一男	120836	阿部 花枝	140629	中村 公男	170322	東郷 健	190943	松本 幹生	220813	廣部 晴美	420334	福岡恵理子
110335	小野寺貴子	120839	安岡 英爾	140804	井上 滉	170332	服部 利之	191002	大日美紀子	220821	久保美貴子	421008	奥山 真治
110337	深尾 年樹	120902	岩槻 秀雄	140826	渡辺 倫子	170516	森 節子	191010	奥村 朗夫	220823	野間 幹二	470609	鈴木 穂人
110343	川上 圭子	120907	榎本 宏子	140830	樋口 和子	170605	山崎 純子	191013	倉貫 順光	220831	山中 行秀	470808	岡田 進
110410	岡部 新	120918	辻 宏代	140844	山下三千子	170606	千代 愛子	191020	田中 啓介	220834	安田 靖久	480632	松本友一郎
110412	神門善三郎	120923	角田 俊彦	140909	木村 正	170626	平井 俊春	191028	人見不二夫	220918	二木 美恵	520337	和田 正大
110431	平山 静栄	120939	村田 和子	141019	河合 誠治	170640	持田 一郎	191037	美田村活実	220921	中川 雅子	560421	中川 祥子
110439	松原 武	120944	日高史緒	141021	北村 忠男	170645	吉田 武夫	191122	細川寿美枝	220935	山田 陸裕	620225	中田 萌
110508	大堀 晏敬	120948	渡邊 敏盛	141037	福田 喜徳	170714	野野 春樹	191137	木村あけみ	220936	武田裕里江	640521	羽谷 国也
110518	下川 正斉	121004	太田 勇	141116	川崎 猛	170801	市川 悦子	191203	堀澤 幸子	221036	森井 康次	650620	紺谷 侑子
110604	河野 敦子	121017	森口 栄子			170804	大槻 雅子	191235	橋本よし枝	221108	奥 正一		
110627	西村 頼男	121020	杉田 桂子	[15期]		170806	大前 満之	191242	西原多寿子				
110746	山本 拓宏	121028	斉藤 邦江	150111	尾崎 崇	170808	荒川 雅子	191341	廣瀬眞知子	[23期]		000001	鴨沂三八会
110803	小豆島敏夫	121031	新井 節子	150112	金澤 守	170821	竹中 桂子	191418	田中 立美	230115	河本 茂樹		卒業50周年
110803	梅本 才三	121036	平池 恵一	150113	北村 安定	170839	松浦 英次	191443	青木 栄子	230119	佐野 統		記念同窓会
110805	則武美佐子	121047	大石多賀子	150117	小宮 雅信	170841	御牧 直直			230133	武野 孝子	000002	藤井 直
110845	宮脇 亘	121107	岡崎 博	150146	西川 淳子	170847	和田 裕助	[20期]		230238	岩嶋 京子	000003	中田佳代子
111024	清水 関二	121110	高安 陽子	150204	山田多恵子	170912	宇野 進	200107	岩田 幸子	230305	飯田 良治	000004	高乘 重幸
111037	竹内紀代子	121112	萩原さち子	150224	武井 睦夫	170926	遠藤 允子	200109	小川 雅人	230518	村井 悦子	000005	西田 靖隆
111123	北口 文子	121130	島田 正子	150230	西村 武生	170942	山岡 亮平	200112	金子久美子(物故)	230523	富田 滋	000006	第11期鴨沂
111139	長谷川康正	121133	辻井 淳子	150231	丸谷 優子	171134	津田 朋子	200114	河合 博夫	230525	吉田 洋子		三三会
111212	小山 幸代	121134	兼松 毅	150245	吉川 博美	171226	千田 克己	200122	立岡 良久	230609	小林 勝子	000007	鴨沂高校旧
	[12期]	121139	中西(馬場)昭子	150303	池内 勝司			200199	小川 雅人	230634	田中 尊子		文芸部有志
120104	植村 文昭	121141	平井 博	150308	山下彦二郎	[18期]		200309	山崎すづ江	230825	西田 達治	000008	土手 裕子
120114	木村 早苗	121147	村井 俊雄	150320	高橋 英毅	180102	石倉 弘英	200315	釜田 慎一	230837	林 三津子	000009	寺西 克実
120117	中川 貞子	121148	新家 文子	150327	下野 光子	180136	栗田やよい	200326	岩月 道代	230907	小川 達雄	000010	南 とし子
120122	中田 房子	121211	中根司保子	150331	仲瀬 素市	180146	山田 康雄	200327	志賀由紀子	230908	畑中美和子	000011	頼金 栄子
120125	高安 文哉	121215	市川 弘子	150341	山崎 京子	180194	岩田 修一	200507	志鳥 陽	231009	太田 章	000012	京都府立鴨
120127	出浦陽一郎	121223	澤田 良忠	150346	山田 武	180218	河原林憲太郎	200509	谷 晶子				沂高等学校
120128	中川 浩二	121238	中島 昌子	150409	加藤 滋雄	180233	長井 苑子	200522	櫻井 恒正	[24期]			同窓会関東
120140	水野 武夫	121242	山村 房子	150417	博谷 浩宜	180246	大竹 敏子	200528	辻岡 康夫	240201	青木 文隆		支部
120144	山崎 眞	121306	岡田登美子	150430	中西 孝子	180330	西村 達男	200545	渡辺 一平	240217	木下 妙子	000014	同窓会25期
120145	婦山 洋子	121330	中村 博	150435	原田 猛	180345	山本 俊一	200602	厚見 法文	240501	豊福 洋子		有志
120201	佐立 昌武	121331	池垣紗恵子	150507	今西 雅子	180415	河口 達雄	200612	岩室 雪雄	240502	井上 康行	000015	山根 光子
120202	木村 保子	121334	根岸光一郎	150517	片岡 祥子	180425	東中 容子	200621	鈴鹿 通治	240526	中小路由見子	000016	山本 昌乃
120210	小田 守政	[13期]		150521	谷口明日香	180431	西村 義治	200630	高島まゆみ	240533	高島 正義	000018	第14期鴨沂
120215	小西 大史	130107	今田 博也	150535	武田 将裕	180517	鈴木 敏介	200709	北村多香子	240729	福中 厚子		高校同窓会
120221	友杉茉莉子	130110	江藤 英賢	150542	山田 弘治	180527	中村 皓一	200711	加藤 政好				一同
120222	安岡恵津子	130114	大塚 福子	150610	大槻 亮	180532	福本 幸夫	200727	藤村 俊次	[25期]		000019	北尾 節子
120303	五十嵐 修	130132	原田 卓	150613	大前 誠	180607	太田 雅彦	200732	西原 明達	250119	高橋 薫	000020	高安 医院
120323	高月 敏	130205	太田 一朗	150620	佐野 正	180619	栃木 陽子	200737	山崎 賢二	250310	福岡 正子	000022	森本恵津子
120328	蜂谷 英樹	130328	谷口 正和	150622	吉田 桂子	180636	柴田 貴代子	200738	山田 憲司	250509	大野 智史	000023	鴨沂高校第1
120335	森田 祥太	130409	水瀬 洋	150622	足立 順子	180704	伊藤 徳男	200740	砂川美知子	250538	前川 靖		同卒業同期会
120338	山下 茂昭	130417	鳥 聰司	150715	相馬 晴彦	180707	森本 幸子	200822	松村 和子	250707	鈴鹿ひとみ		北久幸子
120404	今井 勝也	130420	仙石 貢	150717	芝原 央充	180721	佐藤 高士	200901	池上 陽	250721	若林万里子	000026	岩佐 氏昭
120406	大石 敏雄	130444	横山 貞之	150721	杉立 繁	180730	塚本 能交	200910	葛西 宗久	250731	平野 修	000027	谷 信男
120407	上田 裕久	130502	浅木 俊昭	150723	高橋 一海	180744	安本 俊昭	201017	斉藤 幸男	250815	北尾 真一	000028	13期同窓会
120410	貴宝院善博	130506	上部千賀子	150831	福井 吉夫	180745	山田満智子	201037	宮本 節子	250837	南 寛		一同
120413	小林 恭一	130527	田和 茂樹	150834	船富 武	180748	細川 優	201039	森下 澄	250929	戸川 明弘	000029	大岡喜美子
120414	澤村 佳宏	130527	塚谷 博	150836	増島 正宏	180810	松本 聡美	201042	森下 淑子	250930	内藤 悦永	000030	桑原 秀夫
120417	高崎 肇	130539	松本 敏昭	150915	浅川 久子	180811	薬師寺喜代美	201107	濱田都美子	250943	渡部 恵子	000031	12期生同窓
120426	野中 靖弘	130638	淵上 勝之	150928	中川 成彦	180828	河原 敬子	201113	並松 庄一				会一同
120429	西木 幸子	130731	辻川 昭	150931	大崎トミ子	180906	田村 美晴	201142	黒崎 真美	[26期]			金子久美子さん
120430	森山 雅代	130819	木下 武彦	150935	福田 康弘	180921	木下 政子	201144	秋山 道男	260116	佐藤 匡		を偲ぶ会
120431	福田 雅弘	130901	尼川健次郎	151008	上田 喬	180941	山崎 昌伸	201224		260136	澤 福子	000033	第21期同窓
120432	荒木 洋子	130919	松本多紀子	151024	今岡 貞子	181104	嶋林千津子			260218	島村 路子		会一同
120440	山本 功	131008	太田 和子	151028	長島 透			[21期]		260231	中野 実	000034	金子久美子さん
120504	清水 晴美	131019	関野 正美	151030	福富 泰子	[19期]		210204	伊澤 美鈴	260504	天川 明久		を偲ぶ会実
120508	大谷 正一	131019	松田 裕子	151042	山本 明	190118	広瀬ナナ子	210324	田伏 純一	260937	三木 康裕		行委員会
120509	奥田 敏	131032	森田 忠男	151113	九ノ里稲枝	190139	宮川 道夫	210430	古川 理				大倉 弘毅
120534	金井 秀子	131040	森田 忠男	151117	西村 久子	190202	油 啓一	210433	平井 芳美	[27期]			
120602	今西 満	131112	中松 昌子	151141	山本 祐司	190203	新井 雅夫	210625	田伏 正恵	270505	宮本 陽子		
120608	大鉢 忠	131144	吉岡百合子	151207	都築トシ江	190230	山田 泰子	210639	竹岡 秀夫				
120617	野原タミ子	131206	井上 雅代	151208	原田 夏枝	190240	西井富美子	210639	和氣 孝	[29期]			
120622	竹田 雅人	131227	谷口 良信	151208	松田 正治	190244	吉川 能信	210703	石塚 実	290106	岡田 憲和		希望されない方
120623	西本(田原)貞子	131321	安田 紀子	151219	八木美智一	190245	吉川 能信	210705	佐藤佳代子	290415	桑田 光雄		331名
120625	門 津多枝	131327	堤 一政	151241	川部 誠一	190245	四柳 文和	210922	廣瀬ちづる	290737	関野 望美		合計 1,420名
120628	奈良本英佑	131333	多賀 功	151311	檀野 綾子	190321	白石 哲也	211005	飛田 敏子	290917	坂口 暁夫		金額 14,131,139円
120629	久田 洋二	131334	細井 勝	151329		190419	久保久美子	211127	春田 八郎				
120637	松比良伸也	131343	山崎 優	[16期]		190426	辰巳 賢二	211226	原田 文洋				
120646	和田 正大	[14期]		160106	上原 春男	190502	中村 光信	[22期]		[30期以降]			
120705	猪倉 清	140115	木村 達郎	160220	桑原 明	190503	青木 吉昭	220120	田口 賢治	300610	大嶽 玉緒		
120715	桑原 宏	140124	棚橋美代子	160318	関野 健夫	190537	中田 暁子	220123	谷口 博美	300831	双見 徳秀		
120720	原 肇	140141	森川 暁	160405	伊藤 靖忠	190626	望月 修	220132	増野 周一	310330	西村 伸一		
120723	杉本 定	140142	森田 恒次	160431	上野 幸子	190628	鈴鹿 直道	220134	前崎二三子	310704	井上 貴子		
120724													

内科・胃腸科・放射線科・小児科
・リウマチ科・アレルギー科

藤 田 医 院

院 長 藤 田 宗 (30 年卒第 7 期)

副院長 藤 田 寧 子

藤 田 貞 子 (35 年卒第 12 期)

診察時間

午前：9:00～12:00 午後：17:30～20:00

休診日

木曜日と祝日曜日・「火曜日と土曜日」の午後

〒606-8176 京都市左京区一乗寺塚本町 46-2

TEL(075)711-0911

FAX(075)781-5035

弁護士・税理士・(公財)日本センチュリー交響楽団理事長

水 野 武 夫

(昭和 35 年卒業・12 期生)

事務所 共栄法律事務所

〒541-0041 大阪府中央区北浜 3 丁目 7 番 12 号

京阪御堂筋ビル 8 階

TEL 06-6222-5755 FAX 06-6222-5788

自 宅 〒605-0981 京都市東山区本町 15 丁目 778-16

TEL・FAX 075-533-7111

奥田会計事務所 事業経営のパートナー



O K U D A
Accountant's office

所 長 奥 田 徹
税 理 士

Takashi Okuda
(35年卒第12期)

〒604-0952
京都市中京区富小路通二条下る俵屋町195番地
ヴィラト-ヨー 604号
TEL:075-211-8381 FAX:075-211-8385

TVでも紹介
されました!



関西テレビ
「となりの人間国宝さん」



MBS
「ちちんぷいぷい」



査定品

ブランド品/時計/ダイヤ・宝石
洋服/着物/毛皮/骨董品/金・プラチナ

宝石・貴金属は、FGA(英国宝石学協会)
認定資格者が鑑定します。
鑑定書が無くても、安心してお持ちください!



宝石・貴金属の鑑定書、
要りません。

加藤 学 (36期卒業生)

ブランド品販売・買取り
よろず屋

創業70年の信用と安心 — ドライブスルー質屋 加藤商店グループです

ブランド品販売・買取り

YOROZUYA
よろず屋

本店

烏丸通今出川南西角下ル

☎ 0120-25-0700

営業時間▶11:00~19:00 [土曜は18:00迄]
定休日▶日曜・祝日

🅐 10台有

四
条
店

東洞院通四条上ル(「大丸京都店」北隣)

Tel 075-241-7900

営業時間▶ 買取/10:00~19:30
販売/11:00~19:30

年中無休

京都 加藤商店

検索

YOROZUYA 京都

検索

楽天市場にも出店中!



医療法人社団高安医院 高安グループ

病气やケガの診療から、
お年寄り・お体の不自由な方の介護まで。
高安グループは地域に密着したサービスで
皆様の暮らしを支えます。
どうぞお気軽にお問い合わせください。

高安医院 [皮・内・小児・老齢] 在宅支援診療部 通所介護高安デイサービス
居宅介護支援事業所神川 訪問看護ステーション神川 看護小規模多機能型居宅介護神川
サービス付き高齢者向け住宅れんげ 複合型サービスみちくさ

takayasu-group.com

075-643-1755 [総合窓口]

〒612-8484 京都市伏見区羽束師鴨川町 30-19

金平糖

緑寿堂清水

本店 京都市左京区吉田泉殿町38番地の2

☎ 075-771-0755 FAX 075-771-0755

H P <http://www.konpeito.co.jp>

イタリア割烹 TAVOLA



定休日 月曜日(連休は最終日が休み)
住所 〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町63-7
Tel 075-751-2212
Mail appetito@tavolakyo.com

住宅・店舗 設計施工



株式会社 福井

〒606 8313

京都市左京区吉田中 大路町4-3

TEL 075 761 0295

FAX 075 761 0297

14期卒業生 福井 武司

不動産全般

有限会社京和エステート

代表取締役 田中和樹

(29期卒業生)

京都市左京区吉田中阿達町51-2

TEL: 752-3444 FAX: 752-3443

E-mail : kyowa@road.ocn.ne.jp

第15期卒業生同窓会

1963 (昭和38) 年卒業

次回開催のお知らせ



第11回 同窓会

2018年 6月9日(土)
からすま京都ホテル

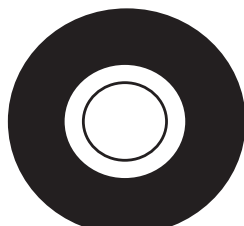
多くの皆さまの、参加をお待ちしております。

第10回 同窓会報告

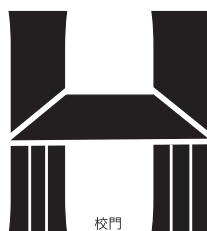
2016年 6月11日(土)
からすま京都ホテル

99名のご出席があり、楽しい会が
催されました。

京都府立鴨沂高等学校



御所



校門



荒神口



鴨川

祝

新校舎落成

● 第10回幹事

1組・宮中明子、吉岡誠 2組・片桐比佐、河合孝俊
3組・村上静江、山田武 4組・西尾英子、増田雅彦
5組・今西嘉次、斉藤邦子 6組・青山千鶴子、永平利喜雄
7組・坪内成晃、吉岡久代 8組・船富武、堀和子
9組・井上安彦、井上まき 10組・水江勇、山本美津子
11組・榎並忠男、九ノ里稻枝 12組・荒堀浩一、原田夏枝
13組・塚本三智子、西川正

● 第11回幹事

1組・山田信子、吉岡誠 2組・片桐比佐、宮崎洋
3組・切目朋子、山田武 4組・杉本博、西尾英子
5組・斉藤邦子、山田弘治 6組・大槻亮、藤田彩子
7組・越後孝、松村裕子 8組・長谷輝雄、堀和子
9組・井上安彦、大西節子 10組・長島透、山本美津子
11組・榎並忠男、九ノ里稻枝 12組・原田夏枝、牧和子
13組・田中ヒデ子、西川正

事務局：河合孝俊 (090-3723-3882) 谷口明日香 (090-5469-2577)

国指定名勝 登録博物館

白沙村荘 橋本関雪記念館

日本画家、橋本関雪の設計による邸宅「白沙村荘」の7000㎡に亘る池泉回遊式庭園と、彼の作品と蒐集美術品を展示する美術館の公開を年間を通じて行っております。併設のレストランでは和食・洋食共にご予算とニーズに応じた季節の料理をご提供しておりますので、ご見学と併せてご利用下さい。

開館時間 午前10時より午後5時まで
最終受付時間 午後4時30分

交通アクセス

《京都駅から》

入館料 1300円（庭園と美術館）
※特別展開催時は別料金となります

京都市バス100系統「銀閣寺前」下車1分
《阪急河原町駅から》

京都市バス32系統「銀閣寺前」下車1分

お食事どころはしもと

白沙村荘 橋本関雪記念館に併設された和食のレストラン。リーズナブルな御膳やうどん、丼物などを提供する今出川通沿いの店舗と、白沙村荘内の主家座敷での会席料理のご用意を選んで頂くことが出来ます。また、お昼茶や仕出しの注文にも随時対応させて頂けます。詳しくは <http://www.hakusasonso.jp/restaurant/hashimoto> を御覧ください。

開店時間 11:00~17:00 TEL 075-771-0461

レストラン NOANO

白沙村荘 橋本関雪記念館に併設された1970年創業の洋風レストラン。創業以来のパスタ、ピッツアの他に予約にて季節のランチコース（2500円、または4500円）もご用意致します。夜はアラカルトメニュー、またはコースメニューをご用意しております。詳しくは <http://www.hakusasonso.jp/restaurant/noano> を御覧ください。

開店時間 11:00~21:00 TEL 075-751-4010

606-8406 京都市左京区浄土寺石橋町37番地2 TEL 075-751-0446 FAX 075-751-0448
公式ウェブサイト <http://www.hakusasonso.jp> E-mail info@hakusasonso.jp



満

月

阿闍梨餅本舗

京都市左京区鞠小路通り今出川上る

☎ 〇七五・七九一・四一〇一

創業元禄二年



聖護院ハッ橋総本店

京都市左京区聖護院山王町六 電話 075(761)5151

大垣書店

KYOTO

since 1942

<http://www.books-ogaki.co.jp>

60期卒業生

大垣守可

MORIYOSHI OGAKI

京都府立鴨沂高等学校 同窓生の皆様へ

～ 学校長からのメッセージ ～

京都医健専門学校が所属する滋慶学園グループは全国に約70校を有する専門学校群で、職業人教育に邁進することで社会に貢献しています。

京都医健はその中でも医療系国家資格をめざす学生達の学びの場となっています。

この学校の初代学校長西村二郎先生は鴨沂高等学校第2期で、現校長である私は第5期の卒業生であります。

鴨沂高等学校卒業生が開拓してきたこの学校に多くの後輩が入学されることを切望しています。

京都府立鴨沂高等学校 5期生



京都医健専門学校 学校長 **小林 哲夫**

京都の中心でスポーツ・医療・福祉・美容業界で活躍できる人材を育成しています。



京都医健 専門学校 とは

京都医健専門学校は、滋慶学園グループの1校として2005年4月にスポーツ科学科・柔道整復科・鍼灸科を有する、スポーツ・医療の総合学園として、京都の中心地烏丸御池に開校致しました。2007年には理学療法科を開設し、その後、作業療法科・視能訓練科・言語聴覚科・トータルビューティー科・社会福祉科を開設致しました。さらに、2017年4月には京都で唯一の夜間1年制として精神保健福祉科を新設し、10学科を有する「医療・福祉・健康・美容の総合学園」となります。

地元、京都・滋賀を中心に広くスポーツ・医療・福祉・美容業界で活躍できる人材を養成してまいります。

<p>スポーツ科学科 2年制</p> <p>「スポーツが好き！」 その思いがあれば 可能性は無限大</p>	<p>トータルビューティー科 2年制</p> <p>エステ・メイク・ネイル・ブライダル 本気でキレイのプロを めざす2年間</p>	<p>柔道整復科 3年制</p> <p>骨折や脱臼、捻挫(ねんざ) など、ケガの施術が できる国家資格</p>	<p>鍼灸科 3年制</p> <p>スポーツ分野から、 地域医療、美容分野 まで幅広く活躍できる</p>	<p>理学療法科 4年制</p> <p>ケガだけではなく病・ 老化などあらゆる 障がい回復する</p>
<p>作業療法科 4年制</p> <p>リハビリを通じて 笑顔に溢れた豊かな 生活を取り戻す</p>	<p>視能訓練科 3年制</p> <p>「見る(みる)」という チカラを検査・訓練・ リハビリで支える国家資格</p>	<p>言語聴覚科 2年制 ※大卒者対象</p> <p>「ことば」「聴こえ」 「食べる」のリハビリに 関わるスペシャリスト</p>	<p>社会福祉科 1年制 ※大卒者等対象</p> <p>生活困難に直面して いる人に向き合い、 適切な援助につなげる</p>	<p>精神保健福祉科 1年制 ※大卒者等対象</p> <p>精神科医療・保健・ 福祉の分野で「人」に 向き合う専門職</p>

（スポーツ・医療・福祉・ビューティーが学べる） 学校法人滋慶京都学園 日本協公認アスレティックトレーナー免除適応コース承認校 厚生労働大臣指定校

医健KEN 京都医健専門学校

フリーダイヤル **0120-448-808**

ケータイからOK!

京都医健

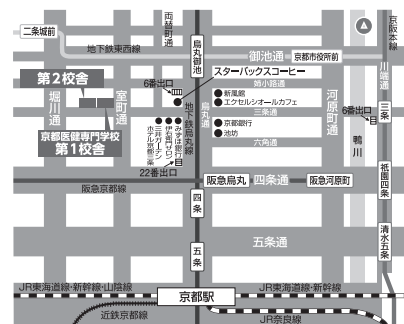
で検索

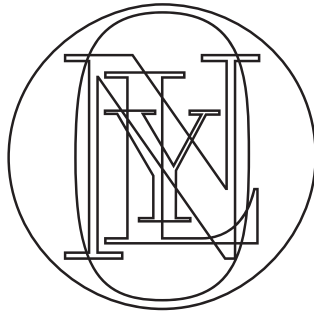
〒604-8203 京都市中京区三条通室町西入衣棚町51-2

アクセス便利 京都市営地下鉄烏丸線 烏丸御池駅6番出口より徒歩3分

[E-mail] info@kyoto-iken.ac.jp [携帯HP] http://kyoto-iken.ac.jp

[パソコンHP] http://www.kyoto-iken.ac.jp





ONLY

株式会社 オンリー

代表取締役 **中西 浩一** (昭和40年卒17期)

〒600-8427 京都市下京区松原通烏丸西入ル玉津島町303番地
TEL:075-354-4129 FAX:075-354-4130 www.only.co.jp



〒606-8395 京都市左京区川端丸太町上ル東丸太町八番地
電話:075-761-5470 FAX:075-761-4855



 **一保堂茶舗**

京都市中京区寺町通二条上ル
Tel (075) 211-3421
www.ippodo-tea.co.jp

www.shoyeido.co.jp



創業宝永二年 各宗大本山御用達
香老舗 松榮堂
京都本店 / 京都市中京区烏丸通二条上ル東側
TEL 075-212-5590 FAX 075-212-5595

彦摩呂店 京都駅前店 美山香野 大槻本町店 朝原店 人形町店 香山堂屋 札幌店

自叙伝を出版しませんか？

原稿作成からお手伝いいたします。

学術書・学習参考書・一般書

週刊書評紙「図書新聞」発行・発売

武久出版株式会社 代表取締役社長

加藤 啓 (19期卒)

会社所在地 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場
3-13-1 ノークビル3階
電話 代表 03-5937-1843

不動産のことなら…

Feliz 有限会社 **フェリス**

〒602-0915

京都市上京区中立売通室町西入三丁目4番地4

TEL 075-417-1234 FAX 075-417-1230

祝 新校舎落成



京都工芸染匠協同組合員



〒602-8056 京都市上京区東堀川通水上上ル三丁目
SPビル2F (ルビノ京都堀川南三軒目)
TEL. 075-451-7647 FAX. 075-441-7969
E-mail:some-s@dune.ocn.ne.jp
URL:http://www16.ocn.ne.jp/~sime-s/



投資用マンションの売買・仲介
賃貸用不動産による資産運用
土地建物の売買・仲介
賃貸マンション・貸家
テナント・斡旋・不動産管理

不動産の活用の御相談をお受けします

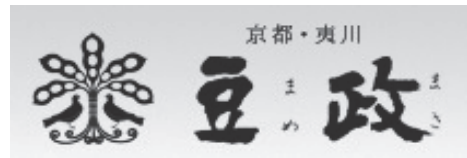
京都府宅地建物取引業協会々員
京都府知事免許(7)第8766号

株式会社 **エイ・アンド・エフ** A&F

代表者 関野正美

〒602-8056
京都市上京区東堀川通下長者町下ル三丁目13番地の3
ホーユウコンフォルト二条城前1F (ルビノ京都堀川南隣)
TEL. 075-414-1689 FAX. 075-451-6170
E-mail:a-f@aria.ocn.ne.jp URL:http://www16.ocn.ne.jp/~a-f

京都土産にはまめまさの真川五色豆・月しろ・茶だんごを。通販も行っております。



電話受付時間：8：00～17：00

本店営業時間：月～土 8：00～18：00 日曜定休

TEL 075-211-5211 FAX 075-211-4520



京都踏水会はおかげさまで120年以上の歴史をもっています。
乳児からジュニア、中高生、成人までの生涯水泳を推進しています。
また競泳・水球・シンクロと各方面への選手育成とサポートに努めています。

京都踏水会水泳学園

公益財団法人 京都踏水会

※厚生労働大臣認定 健康増進施設
一般社団法人 日本スイミングクラブ協会水泳資格認定指定校
TEL.075(761)1275 FAX.075(761)1610
http://www.kyoto-tohsuikai.jp
〒606-8357 京都市左京区聖護院通華蔵町 33-5

祝新校舎落成

昭和45年卒・22期生

有志一同

赤松ゆかり	稲垣信次	井上義信
井上俊一	井上久子	岩崎裕美
岩知道昭子	江藤龍一	江村博子
奥正一	門田節	鈴木正澄
柴田良明	高橋信也	野間 幹二
野村芳美	乗松良徳	森圭子
森井康次	安田行秀	吉川浄

祝 新校舎落成

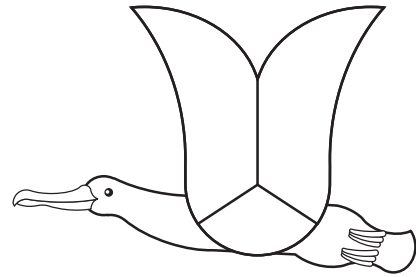
鴨沂高校三八会 卒業 52 周年記念同窓会 参加者一同

(昭和 39 年卒・第 16 期生)

組	名前 (旧姓)	組	名前 (旧姓)	組	名前 (旧姓)
1	荒木 史郎	3	中島 義高	7	田中 勇
1	杉山 秀生	3	長谷川 尚男	7	瀬尾 (駒村) 赫子
1	安達 (藤村) 明生	3	板東 嘉秀	7	パリス (井上) 由紀
1	木田 宏	3	埴内 麻男	8	河田 悌一
1	穎川 尚宜 (尚継)	4	田中 (畔柳) 鮎子	8	島川 (辻) 芳子
1	本庄 暢夫	4	藤田 (中井) 美子	8	川久保 由司
1	佐藤 紗智子 (吉武幸子)	4	保田 邦雄	9	福武 (千代) 和子
1	石原 真理子	4	天野 道美	9	印南 (野村) 絹美
1	佐藤 隆司	5	平田 朗	10	岩田 (大前) 公子
1	丸橋 (油津) まずみ	5	高井 一弘	10	湯山 泰次
2	上田 紀武	5	大島 邦良	10	岩崎 要子
2	光田 (宮上) 敦子	5	奥山 (渋谷) 典子	11	秋保 (上村) 淑
2	辻 俊夫	5	佐藤 晴雄	11	山本 幸三
2	戸谷 (加藤) 久美代	5	駒村 利之	12	桂 (松本) 厚子
2	望月 堯	6	太田 烈彦	12	森山 (赤塚) 久美子
2	楠 (洞林) 美恵子	6	池本 (山本) 順子	12	岩永 (上山) 留美子
2	北山 (青谷) 康子	6	岸本 正司	13	太田 (倉島) 美智代
2	栗林 昭	6	久保田 (高井) 玲子	13	西島 (清美) 育子
2	富永 克己	7	高橋 善彦	13	中澤 (清水) せつ子
2	桑垣 亮	7	平塚 正美	13	福田 (小谷) 登志子
3	浅野 洋蔵	7	西川 (山川) 功		原田 滋
3	松嶋 (今村) 美都子	7	岡野 佳郎		合計65名

鴨沂高校三八会ホームページ <http://ohki38kai.jimdo.com/>

祝
新校舎完成



自由な校風に学び、
常に志を高く持ち、
未来へと羽ばたく
在校生の皆さんに
エールを贈ります。

第17期卒業生 古希祝い同窓会 世話人

生島 融、市川悦子、大前満之、倉本美津子、高木幸枝
宝木英夫、中村嘉次、西井眞智子、平石謙治、平田教子
満久敏明、御牧房江、村井小夜子、持田一郎、山岡亮平

宮崎 力 (8 期生)

京都市中京区二条通河原町西入
TEL:075-211-3408

1 2 期卒業生

清水 達夫

石塚会計事務所

石塚 実

2 1 期卒業生

〒604-0022 京都市中京区室町通御池上ル
御池之町 310

Tel 075-221-6431 Fax 075-222-2213

ishizuka@mbox.kyoto-inet.or.jp

1 4 期卒業生

田村 滋

不動産登記・商業登記・相続手続・成年後見

司法書士藤井光事務所

2 1 期卒業生 藤井 光

〒607-8022 京都市山科区四ノ宮小金塚 8-175

Tel 075-582-8676 Fax 075-203-8702

三橋 清司

2 4 期卒業生

〒604-0911

京都市中京区河原町通二条上清水町341-11
グランクール河原町401

Tel&Fax 075-251-7124



 **京都中央信用金庫**

みなさまのすぐとなりに
京都中央信用金庫があります。

本店／京都市下京区四条通烏丸西入ル

☎ 075 (223) 2525

FAX 0120-201-580 (フリーダイヤル)

www.chushin.co.jp



ゆたかなコミュニティを求めて

コミュニティ・バンク 京都信用金庫は
地域の皆様とともに歩んでまいります
これからもよろしくお願ひいたします



京都市下京区四条通柳馬場東入立売東町7番地 TEL(075)211-2111

<http://www.kyoto-shinkin.co.jp/>

なが——い、おつきあい。



各種金利プラン充実

快適なカーライフを応援

住宅ローン

マイカーローン

事業をしっかりサポート

ニーズに合ったご提案

事業融資

資産運用

京都銀行はさまざまなシーンで
皆様に応援します！

飾らない銀行

 **京都銀行**

京都府立鴨沂高等学校同窓会 第8回総会開催のご案内

日時：2017(平成29)年11月18日(土) 15時30分～ 受付
会場：ウェスティン都ホテル京都 鳳凰の間 (東館4F)
京都市東山区三条けあげ (電話 075-771-7111)

15:30～ 受付
16:00～ 第1部 総会議事
17:00～ 第2部 講演会
18:30～ 第3部 懇親会 (葵殿)



会費 10,000円

※当日お支払い下さい。

※出欠のご回答について

総会は3年ごとの開催予定です。この機会にぜひご出席ください。

なお、準備の都合上、10月10日までに同封の専用はがきにて出欠のご回答をお願いします。

(恐縮ですが62円切手を貼って下さい)

—— 新校舎落成による今後の事業予定 ——

- 11号・12号会報は新校舎落成記念お祝い号とし、協賛の広告を募集し掲載します。
11号は今皆様のお手元にある通りで12号はこれから随時受け付けます。
11号では募金の中間報告としてお名前を公表しても良い方の一覧表を掲載しています。
- 11号会報掲載の第8回総会は会則により3年毎に開催します。
12号会報掲載予定の第9回総会は本来ならば32年11月予定ですが校舎落成予定が30年7月ですので、3年毎の開始を1年前倒して31年のなるべく早い時期に祝賀総会として開催いたします。
- 校舎落成が30年7月ですのでその後幕(緞帳)と校舎のお披露目会を計画しています。
時期が近づいたらホームページでお知らせします。

[今後の予定]

平成29年11月	第8回総会 (11号会報掲載)
平成30年7月以降	幕(緞帳)校舎お披露目会
平成31年	第9回祝賀総会 (12号会報掲載)